佐賀県文化財調査報告書第174集

佐賀県内遺跡確認調査報告書26

2008年3月

佐 賀 県 教 育 委 員 会

佐賀県文化財調査報告書第174集

佐賀県内遺跡確認調査報告書26

2008年3月

佐 賀 県 教 育 委 員 会

はじめに

この報告書は、佐賀県内で実施される農林業基盤整備事業、那珂川総合開発事業（五ケ山ダム建設事業）、嘉瀬川ダム建設事業、その他国・県所管の公共事業の施工に先立ち実施した、埋蔵文化財の確認調査の結果をまとめたものです。

本県には埋蔵文化財が多数存在しており、県教育委員会では、これらの貴重な文化財の保護と開発との調整を円滑に進めるために、協議があった開発予定地について現地踏査を実施しました。これにより遺跡の存在が予測される等埋蔵文化財の有無・性格等を調査する必要があるものについては試掘・確認調査を実施し、遺跡の内容把握に努め、これをもとに埋蔵文化財の保護を進めています。

今回、農林業基盤整備事業、その他国・県所管の公共事業の施工予定地区について文化財確認調査を行った結果、旧石器時代から近世にわたる遺跡が確認されました。

本書が、文化財を県民の共有財産として大切に保存していくための資料として活用していただければ幸いです。

この調査にあたって、文化庁、農林水産省九州農政局、国土交通省九州地方建設局、福岡県をはじめとする国・県各事業の関係機関、各市町教育委員会・農林担当課等、並びに地元関係各位の深い御理解と御協力をいただき、心からお礼申し上げます。

平成20年3月31日

佐賀県教育委員会
教育長　川　﨑　俊　広

例　　言

1．本書は国庫補助金（県内遺跡発掘調査事業）を受け、平成18年度に実施した佐賀県農林業基盤整備事業、福岡県境に予定されている那珂川総合開発事業（五ケ山ダム建設事業）、その他国・県所管の公共事業等に伴う文化財確認調査等に関する調査結果報告書である。

2．調査は市町教育委員会の協力を得て、佐賀県教育委員会が行った。

3．トレンチ（試掘坑）位置図作成、遺構の実測、写真撮影は調査員が行った。

4．遺物の整理・製図・報告書作成作業は、佐賀県文化課文化財調査研究資料室で行った。

　遺物・図面整理、製図等……三好文子

5．本書に用いた方位は、原則として座標北とし、磁北を用いた場合はその旨を記した。

6．挿図中、小トレンチを□■で表記したもののうち■は遺構・遺物が確認されたトレンチ、□は遺構・遺物が確認されなかったトレンチを示す。ただし、遺物の出土が表土層からのみであった場合は□で表す。トレンチの形状を実測したものについては、トレンチの調査内容については本文に記すとおりである。

7．本書の内容は調査員から提出された調査結果報告をもとに編集者がとりまとめた。その際、報告等の原稿のうち、「土壙」や「‥‥跡」の表記等については統一を図る必要性等から一部表現を変えたところがある。これらの文責は編集者に帰す。

8．本書の執筆は各調査に係る部分については、各項目の最初に記す調査担当者が行ない、それ以外のもの及び編集は松尾法博が行なった。

目　　次

Ⅰ．調査に至る経過 …… 1
1．農林業基盤整備事業等に係る文化財確認調査 …… 1
(1) 農林業基盤整備事業等に係る協議 …… 1
(2) 文化財確認調査 …… 1
(3) 農林業基盤整備事業等と文化財保護に関する協議 …… 1
2．その他公共事業等に係る文化財確認調査 …… 2
3．調査組織 …… 4
Ⅱ．平成18年度実施の文化財確認調査の概要 …… 11
［1］農林業基盤整備事業等に係る文化財確認調査 …… 11
1．佐賀東部地区の調査 …… 11
(1) 神埼市 …… 12
2．佐賀西部地区の調査 …… 14
(1) 佐賀市 …… 15
［2］その他公共事業等に係る文化財確認調査 …… 24
1．那珂川総合開発事業（五ケ山ダム建設事業）に係る文化財確認調査 …… 24
(1) 吉野ヶ里町 …… 24
2．嘉瀬川ダム建設事業に係る文化財確認調査 …… 43
(1) 佐賀市富士町 …… 43
3．佐賀城跡公園整備事業（歴史と文化のまちづくり事業）に係る調査 …… 50
(1) 佐賀市 …… 50
Ⅲ．まとめ …… 58
Ⅳ．資　料 …… 60

挿　図　目　次

第1図　平成18年度実施県内遺跡確認調査地区位置図 …… 9～10
第2図　佐賀東部地区調査区位置図（S=1：100,000） …… 11
第3図　神埼市：ふるさと農道緊急整備事業（岩田集落内）トレンチ配置図（S=1：500） …… 13
第4図　佐賀西部地区調査地区位置図（S=1：100,000） …… 14
第5図　佐賀市：村づくり基盤整備施設事業（富士町市川）トレンチ配置図（S=1：500） …… 17
第6図　佐賀市：国営総合農地防災事業右岸幹線水路工事（佐賀中部地区）トレンチ配置図（S=1：1,000）… 20～22
第7図　吉野ヶ里町：那珂川総合開発事業（五ケ山ダム建設事業)調査区位置図（S=1：100,000） …… 27
第8図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　調査対象地区位置図 …… 29～30
第9図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　第5－1地点トレンチ配置図 …… 31
第10図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　第5－2地点トレンチ配置図 …… 32
第11図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　第6地点トレンチ配置図 …… 33
第12図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　第7－①地点トレンチ配置図 …… 34
第13図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　第7－②地点トレンチ配置図 …… 35
第14図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　第8地点トレンチ配置図 …… 36

第15図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　第９地点トレンチ配置図 …… 37
第16図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　第10地点トレンチ配置図 …… 38
第17図　佐賀市富士町：嘉瀬川ダム事業地区内遺跡位置図（S=1：25,000）…… 44
第18図　嘉瀬川ダム事業　付替市道小ケ倉音無線 路線図（S=1：5,000）…… 45
第19図　嘉瀬川ダム事業　付替市道小ケ倉音無線 トレンチ配置図①入道遺跡（S=1：1,000）…… 46
第20図　嘉瀬川ダム事業　付替市道小ケ倉音無線 トレンチ配置図②地蔵平遺跡隣接（S=1：1,000）…… 47
第21図　佐賀市：佐賀城跡位置図（S=1：50,000）…… 50
第22図　佐賀市：佐賀城跡調査対象地周辺図 …… 50
第23図　佐賀市：佐賀城跡石垣実測図　立面図（１面・２面）（S=1：50）…… 51
第24図　佐賀市：佐賀城跡石垣実測図　立面図（３面）、断面図①（S=1：50）…… 52
第25図　佐賀市：佐賀城跡石垣実測図　断面図②（S=1：50）…… 53
第26図　佐賀市：佐賀城跡石垣実測図　横断図（S=1：60）…… 54

図　版　目　次

図版１　神埼市：ふるさと農道整備事業（岩田地区）…… 12
図版２　佐賀市：村づくり基盤整備施設事業（富士町市川）① …… 15
図版３　佐賀市：村づくり基盤整備施設事業（富士町市川）② …… 16
図版４　佐賀市：国営総合農地防災事業右岸水路工事（佐賀中部地区）① …… 18
図版５　佐賀市：国営総合農地防災事業右岸水路工事（佐賀中部地区）② …… 19
図版６　佐賀市：国営総合農地防災事業右岸水路工事（佐賀中部地区）③ …… 23
図版７　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業① …… 28
図版８　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業② …… 39
図版９　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業③ …… 40
図版10　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業④ …… 41
図版11　嘉瀬川ダム事業　文化財調査対象地（入道遺跡遠景）…… 43
図版12　嘉瀬川ダム事業　付替市道小ケ倉音無線１　入道遺跡 …… 48
図版13　嘉瀬川ダム事業　付替市道小ケ倉音無線２　地蔵平遺跡隣接２トレンチ …… 49
図版14　佐賀市：佐賀城公園整備事業１　上：調査対象地全景（西から）下：石垣１・２面（南から）…… 55
図版15　佐賀市：佐賀城公園整備事業２　上：石垣２・３面（北西から）下：石垣詳細１（石垣１面 南から）56
図版16　佐賀市：佐賀城公園整備事業３　石垣詳細２　上：石垣２面（西から）下：石垣３面（北から）… 57

表　目　次

表１　農林業基盤整備事業地区内平成18年度事業埋蔵文化財調査地区一覧表 …… 5～8
表２　佐賀県内遺跡確認調査地区一覧表（平成18年度実施）…… 10
表３　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　確認調査出土遺物一覧表 …… 42
表４　佐賀県内遺跡確認調査地区一覧表（平成18年度実施）…… 59

Ⅰ．調査に至る経過

1．農林業基盤整備事業等に係る文化財確認調査

(1) 農林業基盤整備事業等に係る協議

農林業基盤整備事業については、昭和53年４月（昭和59年４月１日一部改正）に県農林部と県教育委員会が交わした「農業基盤整備事業に係る埋蔵文化財の保護に関する確認事項」に基づき、翌年度工事予定地区に関し文化財確認調査の有無等について協議を実施している。平成18年度農林業基盤整備事業については、平成18年８月４日付け教委文第10853号で国の機関や県農林事業担当課あて事業照会を行い、これに対する事業協議を受けて、関係市町村教育委員会と協力して検討を行った。施工主体は、県土づくり本部・農林水産商工本部所管の県営、市町所管の団体営事業等に区分される。また、九州農政局筑後川下流農業水利事務所所管の筑後川下流用水事業に伴う協議（佐賀市・小城市）、同局筑後川下流白石平野農業水利事業所所管の筑後川下流白石平野農業水利事業に伴う協議（小城市・江北町・大町町）、佐賀中部農地防災事業所所管の農業用水関係事業に伴う協議（佐賀市・小城市）もなされた。

これらの検討・調整の結果、施工予定地区のうち、予備調査（分布・試掘・確認調査）が必要となった地区は、佐賀東部地区の２市４町（鳥栖市・基山町・みやき町・上峰町・神埼市・吉野ヶ里町）12.40ha、佐賀西部地区の３市３町（佐賀市・多久市・小城市・川副町・東与賀町・久保田町）32.50ha、佐賀南部地区の３市２町（武雄市・鹿島市・白石町・太良町・嬉野市）53.40ha、佐賀北部地区の１市１町（伊万里市・有田町）23.66ha、東松浦地区の１市１町（唐津市・玄海町）6.84haの合計128.80haである（表１）。

(2) 文化財確認調査

協議を行った施工計画について現地踏査などの結果をもとに検討を行い、文化財確認調査が必要と認められた地区を決定した。これを受け、当該市町教育委員会・農林担当課、県農林水産商工本部・県土づくり本部、九州農政局と「平成19年度農林業基盤整備事業等に係る文化財の保護に関する第１回協議会」を県教育委員会が主催して平成18年10月16日に開催し、文化財確認調査の時期など円滑な実施について協議した。文化財確認調査は原則として稲刈り終了から麦の作付けまでの期間（９月～12月）を中心に行ったが、地区によっては上物の状況等により、年度末までずれ込む箇所もあった。確認調査は原則として、２ｍ×２ｍのトレンチ（試掘坑）を20ｍ間隔で碁盤目状に、また農道・林道等調査対象地区が狭い場合は地形や工事計画を考慮して設定し、埋蔵文化財の有無、性格、範囲などを調査した。

(3) 農林業基盤整備事業等と文化財保護に関する協議

確認調査等を実施した結果、佐賀東部地区で０m^2・佐賀西部地区で133m^2・佐賀南部地区で０m^2・佐賀北部地区で０m^2・東松浦地区で０m^2、合計133m^2の遺跡の広がりが確認できた。内容としては、弥生時代の墓地跡などを確認した。例年、これらの確認調査の結果を受けて、12月中旬に次年度の農林業基盤整備事業に係る文化財の保護に関する第２回協議会を開催していたが、今回は確認された遺跡が少なかったため、全体協議から個別協議に切り替えた。個別協議では、確認調査の結果をもとに、文化財の保存について工事計画との調整を図った。このうち、農道・用排水路・復旧治山事業等については路線等の変更により遺跡の保存に努めたが、設計変更によっても保存が不可能なものについては、協議の上、工事実施前に記録保存の措置を取ることとした。

2．その他公共事業に係る文化財確認調査

農林業基盤整備事業以外の国・県主体の公共事業について、平成18年度に確認調査を実施した事業及び遺跡は、那珂川総合開発事業（五ケ山ダム建設事業）に係る予定地区内遺跡の文化財確認調査と国土交通省嘉瀬川ダム工事事務所所管の嘉瀬川ダム事業に伴う入道遺跡等がある。

(1) 那珂川総合開発事業（五ケ山ダム建設事業）に係る文化財確認調査

五ケ山ダムは、那珂川水系那珂川の福岡県筑紫郡那珂川町大字五ケ山地先に多目的ダムとして建設するもので、那珂川総合開発事業の一環をなすものである。五ケ山ダムの建設により洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の安定供給を図ると共に福岡市圏の異常渇水時の緊急水補給を行う予定である。

神埼市脊振村に源を発して北流し博多湾に注ぐ那珂川の流域は福岡市、春日市、那珂川町そして佐賀県吉野ヶ里町の２市２町からなり、流域面積は124km²である。那珂川には既に福岡県営南畑ダム（昭和42年竣工）、水道専用の福岡市営脊振ダムがあり、五ケ山ダムは同河川で３つ目のダムとして福岡県が事業主体となって建設することとなった。五ケ山ダムのダム軸は福岡県筑紫郡那珂川町大字五ケ山に位置するがその貯水域並びに影響範囲は五ケ山地内のみならず佐賀県神埼郡吉野ヶ里町（旧東脊振村）小川内に及び、水没面積130万m²、移転戸数は75戸を予定している。福岡県は昭和53～54年の異常渇水を受けて、昭和54年（1979）には那珂川におけるダム建設に向けての地形測量や物理探査などの予備調査を開始し、昭和58年（1983）からは実施計画調査に入っていった。そして、昭和63年（1988）度にはダム建設事業が建設省（現：国土交通省）に採択され、平成３年（1991）12月にはダム軸が決定された。これにより、那珂川町五ケ山地区全域（網取・桑河内・東小川内・大野）と佐賀県吉野ヶ里町小川内のそれぞれの集落が影響を受けることとなった。平成８年（1996）には、ダム建設事業に係る用地補償に関する協定書が締結され、翌平成９年（1997）11月にはダム事業全体の計画が認可され、さらに平成12年の地目認定基準締結等を経て、平成14年（2002）12月14日には損失補償合意の調印式が行われた。その後、地元の生活再建対策および補償交渉を進めながら事業が推進されている。

ダム事業に係る文化財等の調査については、福岡県北谷・五ケ山ダム建設事務所（現：五ケ山ダム建設事務所）が主体となって自然部門の任意観察・聞き取り調査等が平成２年度から開始されている。また、佐賀県と福岡県との文化財部局及びダム関係部局との合同会議については、平成９年度から開始され同年（1995）６月５日に「第１回五ケ山ダム文化財調査連絡調整会議」が開催された。それと併行して文化財担当者のみの打合せや協議も継続して実施されてきた。平成16年度については工事用道路についての協議を行い、これに基づく踏査や工事立会を実施した。また、平成17年度には急遽、土捨場工事やそれに先立つ排水工事計画が協議され、県文化課職員による現地踏査を実施した。踏査および協議の結果、地区内の石垣の記録保存が必要となり、また、大野土捨場については事前の確認調査が必要となった。平成17年９月９日付け　17五ダム第4097号で福岡県五ケ山ダム建設事務所長から佐賀県文化課長あてに「五ケ山ダム建設に伴う文化財確認調査について（依頼）」があった。これは平成17年度～平成22年度に工事が計画される付け替え道路及び付帯工事に伴う水没地・国道385号道路・県道早良中原停車場線道路についての確認調査の依頼で、これを受け急遽平成17年10月下旬から文化課職員により当該地区の確認調査に着手し、平成18年２月下旬から３月上旬にも水没地の確認調査を行うこととなった。

平成18年度の調査については、平成17年度（第１～第４地点）に引き続き、承諾の取れた第５～第10地点の確認調査を実施した。第７地点は小川内集落跡にあたり、残存する建築物等を除き確認調査を実施した。ただし、建築物解体の際の撹乱等が多数あり、調査には困難を伴った。未調査箇所があるため調査面積が増加する可能性

はあるが、少なくとも現時点で11,500m²については本調査を実施し保護対策を講じるべきと考えられる。

また、調査区南西部の山塊裾部および南東部の田畑については、遺構の残存が予想されることから、伐採等終了後、確認調査を実施する必要がある。

(2) 嘉瀬川ダム建設事業に係る文化財確認調査

嘉瀬川ダムは嘉瀬川水系嘉瀬川に計画され、下流域における洪水被害の軽減、既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流量の確保、佐賀西部地域への農業用水の確保および佐賀市周辺地域における都市用水を確保する多目的ダムである。開発規模は約404ha（うち水没面積は310ha）で、その開発対象地全体が佐賀市富士町に含まれている。ダム建設の事業主体は国土交通省九州地方整備局嘉瀬川ダム工事事務所である。ダムサイトは佐賀市富士町小副川（左岸）・畑瀬（右岸）の標高約205ｍの川床部分に設置されるもので、この地点より上流部の標高約304ｍの等高線で囲まれる範囲が最大湛水地区（水没地区）となる。この水没地区には西畑瀬・東畑瀬・鷹ノ羽・小ケ倉・栗並・馬場・大串・大野・中原等の集落の全部または一部が含まれるほか、ダム関連開発（代替地開発・道路整備・土捨場）等により多くの埋蔵文化財や民俗資料等が破壊・水没することが予想された。

このうち民俗・民俗芸能・建築物・石造物・文書資料については、「嘉瀬川ダム建設に伴う学術調査委員会（米倉利昭委員長）によって平成８～10年度にかけて学術調査が実施され、平成11年度には「嘉瀬川ダム建設に伴う学術調査報告書」としてその成果がまとめられている。一方、埋蔵文化財については、富士町内では過去の発掘調査データがほとんどないため、事業実施に際し埋蔵文化財にどの程度影響が及ぶのか早急に把握する必要が生じた。確認調査については平成10年度までは富士町教育委員会が調査主体となっていたが、事業の増加を鑑み、平成11年度からは佐賀県教育委員会が調査主体となって県内遺跡確認調査（国庫補助事業）等により実施している。浦川、神水川、大串川などの中小の河川が収束して嘉瀬川となり、富士町域の南東隅から大和町へ流出する間に耕作適地の大部分を形成しそこに人口の大半が集中している。これら河川によって形成された河岸段丘や丘陵の先端部には旧石器時代から近世までの各時代の遺物、特に縄文時代、中世、近世の生活関連遺物が見られその遺跡の存在が予想されるが、従来、発掘調査によって確認された遺跡は僅かであって、遺物のほとんどは表面採集によるものであった。

平成12年度から佐賀県教育委員会では本調査に着手しており、平成24年度までに調査を終える予定である。工事計画に併せて、西畑瀬遺跡・東畑瀬遺跡・大野遺跡・大串遺跡など水没地区内での発掘調査が進み、縄文時代から近世の遺構・遺物を検出している。特に、縄文時代と中近世の遺跡が中心で２時期以上の遺構・遺物が重層的に複合していることが多い。現在までの重要な成果としては、東畑瀬遺跡において遺構・遺物の内容から神代勝利・長良の居館と考えられる戦国期の城館跡が検出されている。また、縄文時代の集落跡からは縄文土器などの遺物が大量に検出され、山間部における縄文時代の様相が次第に明らかになりつつある。

特に、平成18～19年度は、地蔵平遺跡において本調査が実施され、旧石器時代～縄文時代の拠点的遺跡であることが改めて明らかになっている。遺跡内においても遺物分布や土層の堆積状況は一様ではないが、土層堆積の良好な箇所では4時期以上に及ぶ遺物群が遺存していることが判明している。特に旧石器時代の石器群を分離できる遺跡は、佐賀県内において極めて少なく、今後の調査を慎重に進めていく必要がある。

なお、平成17年９月よりダム本体工事が着工され、現在、本格的な工事が進められている。水没する国道、県道の付替工事も進められており、付替国道323号の一部区間（古湯～中原）が供用開始している。

(3) その他

国土交通省佐賀国道事務所所管の事業については平成18年8月10日に全体調整会議を開催し、その後当該市町との個別協議を進めた。また、佐賀県県土づくり本部所管の土木事業については、平成18年11月1日～9日に県内の各土木事務所単位で協議を行い、事業計画と文化財の保護との調整を図り、当該市町教育委員会で確認調査を行った。

3．調査組織

調査主体　佐賀県教育委員会

総　括

局　長　松永　光生　県文化課長

次　長　東中川忠美　県文化課参事　　松本　誠一　県文化課副課長

中村　信　県文化課副課長

庶　務

佐伯　勇次　県文化課総務担当主幹　　平尾　和子　県文化課総務担当主査

黒木　文好　県文化課総務担当主査　　山口　徹也　県文化課総務担当主事

吉田　顕徳　県文化課総務担当主査

調　査

調査総括　松尾　法博　県文化課文化財指導担当係長

調 査 員　樋口　秀信　県文化課文化財指導担当係長　　五島　昌也　県文化課文化財指導担当主査

白木原　宜　県文化課文化財指導担当主査　　宮武　正登　県文化課文化財指導担当主査

徳永　貞紹　県文化課文化財調査担当主査　　渋谷　格　県文化課文化財調査担当主査

佐々木忠俊　県文化課文化財指導担当指導主事（事業調整担当）

調査協力

佐賀市教育委員会　唐津市教育委員会　鳥栖市教育委員会　多久市教育委員会

伊万里市教育委員会　武雄市教育委員会　鹿島市教育委員会　小城市教育委員会

嬉野市教育委員会　神埼市教育委員会　川副町教育委員会　東与賀町教育委員会

久保田町教育委員会　吉野ヶ里町教育委員会　基山町教育委員会　上峰町教育委員会

みやき町教育委員会　玄海町教育委員会　有田町教育委員会　大町町教育委員会

江北町教育委員会　白石町教育委員会　太良町教育委員会　地元各位

（農業基盤整備事業）

九州農政局筑後川下流農業水利事務所　九州農政局佐賀中部農地防災事業所

九州農政局筑後川下流白石平野農業水利事業所

佐賀県県土づくり本部　農村備整課・農山漁村課・森林整備課・下水道課

佐賀県農林水産商工本部　生産支援課・農産課・園芸課・畜産課・林業課

佐賀中部農林事務所　鳥栖農林事務所　武雄農林事務所

鹿島農林事務所　伊万里農林事務所　唐津農林事務所

各市町農林担当課

（那珂川総合開発事業～五ケ山ダム建設事業）

福岡県　五ケ山ダム建設事務所

（その他公共事業）

国土交通省嘉瀬川ダム事務所　国土交通省佐賀国道事務所

国土交通省武雄河川事務所　国土交通省筑後川河川事務所

佐賀県県土づくり本部　建設技術課・まちづくり推進課・下水道課・河川砂防課

佐賀県交通政策部　道路課

佐賀土木事務所　神埼土木事務所　鳥栖土木事務所　唐津土木事務所

伊万里土木事務所　武雄土木事務所　鹿島土木事務所　西部地区ダム建設事務所

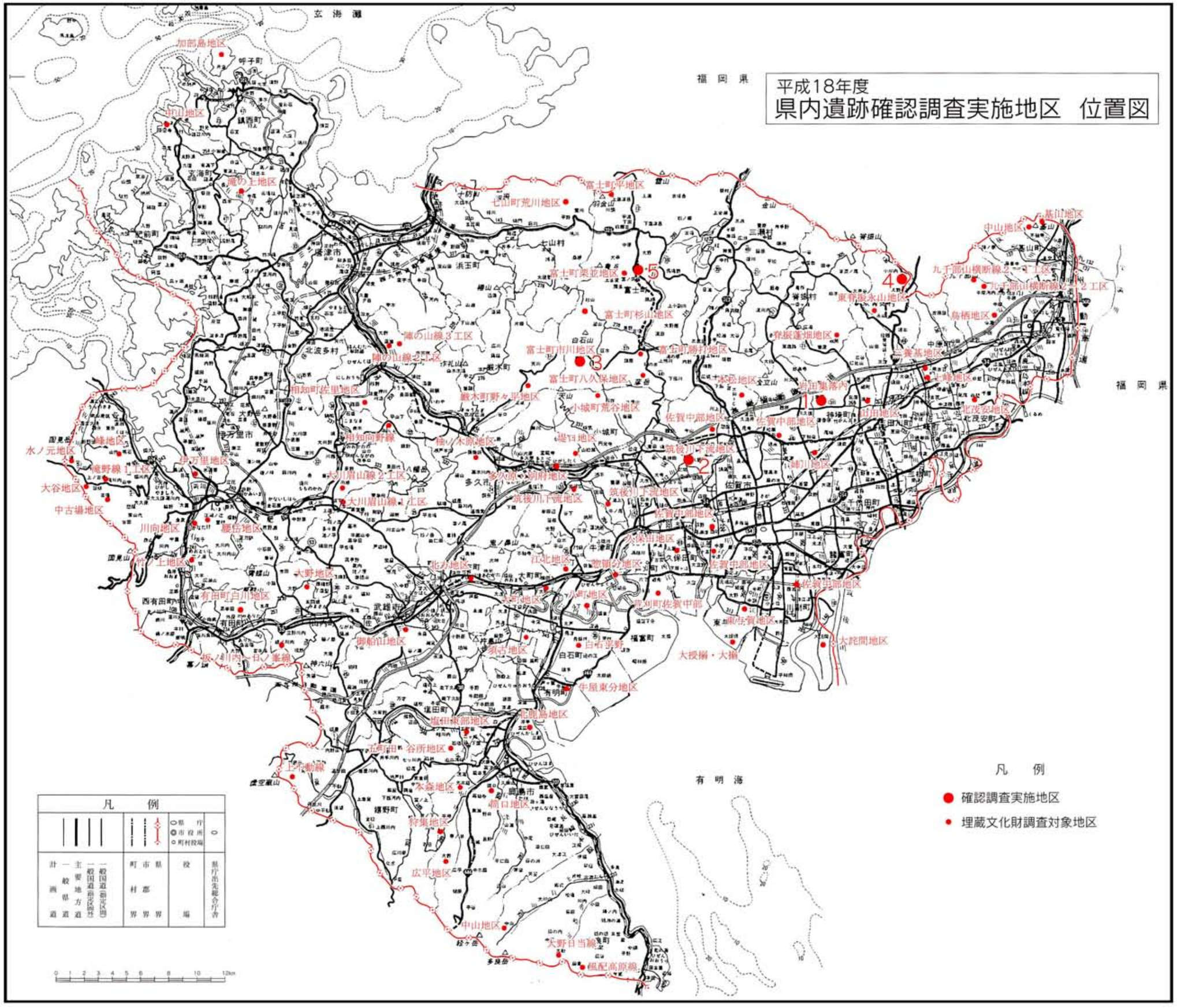
表１　平成18年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査地区一覧表

	市町名	地区名	事業名	調査対象面積(ha)	遺跡の面積(m²)	遺跡名
佐賀東部地区	鳥栖市	鳥栖	県営かんがい排水事業	0.75	0	勝尾城下町遺跡
	鳥栖市	九千部山横断線２－１	道整備交付金事業	0.20	0	勝尾城下町遺跡
	鳥栖市	九千部山横断線２－２	道整備交付金事業	0.40	0	勝尾城下町遺跡
	神埼市	神埼町　佐賀東部	県営かんがい排水事業	0.90	0	井樋尻遺跡、利田黒木遺跡、利田柳遺跡
	神埼市	姉川	県営一般農道整備事業	0.60	0	未周知
	神埼市	荒瀬線	森林環境保全整備事業	1.60	0	未周知
	神埼市	脊振　蓬畑	復旧治山事業	0.30	0	未周知
	神埼市	千代田町（向島）	家畜排泄物利活用施設整備事業　畜産生産基盤育成強化事業	1.20	0	未周知
	神埼市	岩田集落内	ふるさと農道緊急整備事業	0.06	0	岩田遺跡、岩田萩原遺跡
	吉野ヶ里町	山田	県営ため池等整備事業	0.03	0	浦田古墳群隣接
	吉野ヶ里町	小川内線	道整備交付金事業	1.40	0	未周知
	吉野ヶ里町	東脊振　永山	復旧治山事業	0.10	0	未周知
	基山町	中山	予防治山事業	0.05	0	未周知
	基山町	基山	生活環境保全林整備	2.08	0	特別史跡基肄城跡
	みやき町	三養基	県営かんがい排水事業	2.20	0	石井一本松遺跡、大塚遺跡
	みやき町	北茂安	農村振興総合整備統合補助事業	0.15	0	未周知
	みやき町	北茂安	農村振興総合整備統合補助事業	0.25	0	未周知
	上峰町	上峰	県営土地改良総合整備事業	0.13	0	未周知
	合計			12.40	0	
佐賀西部地区	佐賀市	蓮池	県営経営体育成基盤整備事業	0.91	0	蓮池城跡、成瀬遺跡
	佐賀市	蓮池	県営経営体育成基盤整備事業	0.91	0	未周知
	佐賀市	佐賀南部	県営地域水田農業支援緊急整備事業	0.67	0	観音遺跡
	佐賀市	諸富	県営地域水田農業支援緊急整備事業	1.07	0	小田城跡、村中角遺跡、陣内遺跡、唐人墓、太田本村遺跡　他
	佐賀市	富士町　富士南部	生活環境保全林整備	0.21	0	未周知
	佐賀市	富士町　富士南部	中山間地域総合整備事業	0.06	0	未周知
	佐賀市	富士町　富士南部	中山間地域総合整備事業	0.10	0	未周知
	佐賀市	富士町　富士南部	中山間地域総合整備事業	0.08	0	未周知
	佐賀市	富士町　富士南部	中山間地域総合整備事業	0.09	0	未周知
	佐賀市	富士町　富士南部	中山間地域総合整備事業	0.06	0	未周知
	佐賀市	西原后浦線	森林環境保全整備事業	0.20	0	西原遺跡、鈴原遺跡、川原田遺跡、大日遺跡
	佐賀市	上浦線	県単林道事業	0.70	0	未周知
	佐賀市	大申三本松線	県単林道事業	0.50	0	未周知
	佐賀市	富士町　八久保	復旧治山事業	0.20	0	未周知
	佐賀市	富士町　平	復旧治山事業	0.20	0	未周知
	佐賀市	大和町　一本松	予防治山事業	0.10	0	梅ケ谷遺跡
	佐賀市	富士町　勝打	予防治山事業	0.20	0	未周知
	佐賀市	富士町　栗並	水源流域広域保全事業	2.12	0	大前田遺跡、大申遺跡、八龍遺跡他
	佐賀市	富士地区	元気な地域づくり交付金（中山間地域等の振興）	0.35	0	未周知
	佐賀市	富士町（杉山）	低コスト肉用牛生産特別事業	0.60	0	未周知
	佐賀市	富士町（杉山）	畜産生産基盤育成強化事業	0.60	0	未周知
	佐賀市	富士町（市川）	村づくり基盤整備施設事業	0.06	0	市川遺跡
	佐賀市	筑後川下流地区	筑後川下流農業水利事業（佐賀西部導水路）	0.57	0	山寯遺跡、東山田一本杉遺跡、西山田天神遺跡、西山田二本松遺跡　他

	市町名	地区名	事業名	調査対象面積(ha)	遺跡の面積(m²)	遺跡名
佐賀西部地区	佐賀市	筑後川下流地区	筑後川下流農業水利事業（佐賀西部高城線）	1.81	0	一本橋遺跡、西山田一本松遺跡、山裏遺跡、小隈古墳群　他
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　右岸幹線水路工事	0.90	133	小隈五本松遺跡　他
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　右岸幹線水路工事（上流部）	0.14	0	山裏遺跡、東山田一本杉遺跡、西山田天神遺跡
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　右岸幹線水路工事（中流部）	0.31	0	於保三本松遺跡
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　市の江川副幹線水路工事(上流部)	1.11	0	尼寺一本松遺跡
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　市の江川副幹線水路工事(上流部)	1.23	0	東名遺跡
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　市の江川副幹線水路工事(中流部)	0.05	0	未周知
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　市の江川副幹線水路工事(中流部)	0.02	0	未周知
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　市の江川副幹線水路工事(下流部)	0.01	0	未周知
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　兵庫線	0.35	0	野中遺跡
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　大井手幹線水路工事	0.28	0	下和泉三本栗遺跡、下和泉一本栗遺跡
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　嘉瀬排水路工事（上流部）	0.20	0	未周知
	佐賀市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　嘉瀬排水路工事（中流部）	0.11	0	未周知
	多久市	堤口	復旧治山事業	0.20	0	未周知
	多久市	多久原・別府	地域防災対策総合治山事業	6.80	0	未周知
	多久市	柚ノ木原	県単治山事業	0.01	0	未周知
	小城市	芦刈町　佐賀中部	県営地盤沈下対策事業	0.40	0	未周知
	小城市	小城町　荒谷	復旧治山事業	0.10	0	未周知
	小城市	小城町　馬場	復旧治山事業	0.10	0	西の谷六角遺跡
	小城市	筑後川下流地区	筑後川下流農業水利事業（佐賀西部高城線）	0.42	0	散二本遺跡、八ツ戸遺跡、天神軒遺跡、丁永遺跡、自在遺跡　他
	小城市	筑後川下流地区	筑後川下流農業水利事業（多久導水路）	1.71	0	未周知(久蘇遺跡、山崎山古墳群、深底龍、中隈古墳群に近接)
	小城市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　右岸幹線水路工事（下流部）	0.06	0	未周知
	小城市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　久保田幹線水路工事	0.60	0	未周知
	小城市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　西水東水幹線水路工事(上流部)	0.05	0	未周知
	小城市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　西水東水幹線水路工事(中流部)	0.17	0	未周知
	小城市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　西水東水幹線水路工事(下流部)	0.34	0	未周知
	小城市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　三日月１号排水路工事	0.18	0	未周知
	小城市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　牛津２号排水路工事(上流部)	0.08	0	未周知
	小城市	佐賀中部地区	国営総合農地防災事業　牛津２号排水路工事(中流部)	0.11	0	未周知
	川副町	大詫間	県営地域水田農業支援緊急整備事業	0.65	0	未周知
	川副町	佐賀中部	県営地盤沈下対策事業	0.07	0	未周知
	東与賀町	大授搦・大搦	県営経営体育成基盤整備事業	2.00	0	未周知
	東与賀町	東与賀	県営地域水田農業支援緊急整備事業	0.72	0	未周知
	東与賀町	佐賀中部	県営地盤沈下対策事業	0.10	0	未周知
	久保田町	久保田	県営地域水田農業支援緊急整備事業	0.55	0	快万遺跡、元小路遺跡、村田館跡、草木田遺跡、新田遺跡
	合計			32.50	133	
佐賀南部地区	武雄市	北方	県営地域水田農業支援緊急整備事業	0.41	0	久津具遺跡他
	武雄市	白石平野　北方地区	地盤沈下対策事業	0.50	0	久治浦遺跡、芦原五本松遺跡
	武雄市	川内	農業集落排水資源循環統合補助事業	0.20	0	川内遺跡近接
	武雄市	川内	農業集落排水資源循環統合補助事業	0.08	0	川内遺跡近接
	武雄市	大野	農業集落排水資源循環統合補助事業	1.30	0	白川内遺跡、屋敷平遺跡
	武雄市	山内町(飯の川内～日ノ峯線)	森林環境保全整備事業	0.80	0	未周知
	武雄市	山内町　乳待坊	復旧治山事業	0.30	0	未周知

	市町名	地区名	事業名	調査対象面積(ha)	遺跡の面積(m²)	遺跡名
佐賀南部地区	武雄市	山内町　平古場	復旧治山事業	0.20	0	未周知
	武雄市	新行屋　東川登町	予防治山事業	0.10	0	未周知
	武雄市	山内町　大砂古	予防治山事業	0.10	0	未周知
	武雄市	御船山	地域防災対策総合治山事業	0.20	0	未周知
	武雄市	片白	復旧治山事業	0.45	0	未周知
	鹿島市	北鹿島	県営 地域水田農業支援緊急整備事業	1.63	0	常広城跡　他
	鹿島市	筒口地区	復旧治山事業	0.10	0	未周知
	鹿島市	川内地区	復旧治山事業	0.10	0	未周知
	鹿島市	狩集地区	復旧治山事業	0.18	0	未周知
	鹿島市	広平地区	復旧治山事業	0.15	0	未周知
	鹿島市	本森地区	予防治山事業	0.10	0	未周知
	鹿島市	鹿島県有林	県営林作業道開設事業	0.27	0	未周知
	嬉野市	塩田東部	県営 経営体育成基盤整備事業	0.62	0	未周知
	嬉野市	塩田東部	県営 経営体育成基盤整備事業	0.79	0	未周知
	嬉野市	五町田・谷所	農業集落排水資源循環統合補助事業	0.14	0	平山遺跡
	嬉野市	田代線	森林環境保全整備事業	0.30	0	未周知
	嬉野市	上不動線	森林環境保全整備事業	0.50	0	未周知
	嬉野市	嬉野地区	強い農業づくり交付金（経営構造対策）事業	0.08	0	未周知
	大町町	大町	県営経営体育成基盤整備事業	24.00	0	未周知
	大町町	大町	筑後川下流白石平野（二期）農業水利事業（開削）	0.29	0	未周知
	大町町	小通	筑後川下流白石平野（二期）農業水利事業（開削）	0.34	0	未周知
	江北町	江北	県営地域水田農業支援緊急整備事業	1.02	0	山口四本杉遺跡、山口一本黒木遺跡、東百合野遺跡、横谷遺跡
	江北町	惣領分	筑後川下流白石平野（一期）農業水利事業（開削）	0.62	0	未周知
	江北町	八町	筑後川下流白石平野（一期）農業水利事業（開削）	0.87	0	未周知
	江北町	下分・佐留志	筑後川下流白石平野（二期）農業水利事業（開削）	0.23	0	未周知
	白石町	白石	県営地域水田農業支援緊急整備事業	3.50	0	未周知
	白石町	白石平野	地盤沈下対策事業	0.01	0	未周知
	白石町	白石平野	地盤沈下対策事業	0.10	0	未周知
	白石町	白石平野	地盤沈下対策事業	0.10	0	未周知
	白石町	白石平野	地盤沈下対策事業	0.10	0	未周知
	白石町	白石平野	地盤沈下対策事業	0.10	0	未周知
	白石町	牛屋東分	農業集落排水資源循環統合補助事業	1.20	0	未周知
	白石町	須古	農業集落排水資源循環統合補助事業	9.52	0	隆城跡
	太良町	大野日当線	森林環境保全整備事業	0.50	0	未周知
	太良町	風配高原線	森林環境保全整備事業	1.20	0	未周知
	太良町	中山地区	予防治山事業	0.10	0	未周知
	合計			53.40	0	
佐賀北部地区	伊万里市	伊万里	県営地域水田農業支援緊急整備事業	0.37	0	下万場遺跡、裏ノ原遺跡、平木場遺跡、大川野南館跡、寺野遺跡　他
	伊万里市	伊万里西部	中山間地域総合整備事業	18.48	0	未周知
	伊万里市	瓶屋上	県営ため池等整備事業	0.06	0	未周知
	伊万里市	大川眉山線１工区	森林環境保全整備事業	0.40	0	未周知
	伊万里市	大川眉山線２工区	森林環境保全整備事業	0.40	0	未周知
	伊万里市	大川眉山線３工区	森林環境保全整備事業	0.20	0	未周知

	市町名	地区名	事業名	調査対象面積(ha)	遺跡の面積(m²)	遺跡名
佐賀北部地区	伊万里市	滝野線1工区	道整備交付金事業	0.20	0	未周知
	伊万里市	滝野線3工区	道整備交付金事業	0.60	0	未周知
	伊万里市	腰岳	復旧治山事業	0.42	0	腰岳遺跡群
	伊万里市	横尾	復旧治山事業	0.30	0	未周知
	伊万里市	中古場	予防治山事業	0.09	0	未周知
	伊万里市	水ノ元	予防治山事業	0.03	0	未周知
	伊万里市	峰	地すべり防止事業	0.34	0	未周知
	伊万里市	大谷	復旧治山事業	0.30	0	未周知
	伊万里市	構	復旧治山事業	0.50	0	構遺跡
	伊万里市	竹ノ地	復旧治山事業	0.10	0	未周知
	伊万里市	山中	復旧治山事業	0.10	0	未周知
	伊万里市	瓶屋	予防治山事業	0.10	0	未周知
	伊万里市	土ノ元	渓流等県土保全緊急対策事業	0.10	0	未周知
	伊万里市	富士町	県営治山事業	0.01	0	腰岳遺跡群
	伊万里市	川向	県営治山事業	0.01	0	腰岳遺跡群
	伊万里市	今岳	県営治山事業	0.10	0	今岳城
	伊万里市	前平	災害関連緊急治山事業	0.30	0	未周知
	有田町	有田町　中ノ原	予防治山事業	0.04	0	未周知
	有田町	有田町　白川	県営治山事業	0.01	0	未周知
	有田町	竹ノ上	地すべり防止事業	0.10	0	未周知
	合計			23.66	0	
東松浦地区	唐津市	郷目木	県営ため池等整備事業	0.04	0	未周知
	唐津市	丈嶽下	県単ため池災害防止事業	0.03	0	大山田遺跡
	唐津市	加部島	村づくり交付金	0.10	0	未周知
	唐津市	七山　荒川	元気な地域づくり交付金（里地棚田）	1.10	0	未周知
	唐津市	七山　荒川	元気な地域づくり交付金（里地棚田）	0.45	0	前田遺跡隣接
	唐津市	七山　荒川	元気な地域づくり交付金（里地棚田）	0.50	0	京原遺跡
	唐津市	相知　陣の山線2工区	森林環境保全整備事業	0.40	0	未周知
	唐津市	相知　陣の山線3工区	森林環境保全整備事業	0.40	0	未周知
	唐津市	相知　向野線	森林環境保全整備事業	1.60	0	未周知
	唐津市	相知　塩木線	森林環境保全整備事業	0.80	0	伊岐佐古墳群
	唐津市	厳木町　東宇土	復旧治山事業	0.50	0	未周知
	唐津市	厳木町　野々平	予防治山事業	0.14	0	未周知
	唐津市	相知町　平山	予防治山事業	0.04	0	未周知
	唐津市	相知町　佐里	地すべり防止事業	0.05	0	未周知
	唐津市	太道	復旧治山事業	0.20	0	未周知
	唐津市	田頭	地域防災対策総合治山事業	0.20	0	未周知
	唐津市	城ノ浦	渓流等県土保全緊急対策事業	0.10	0	未周知
	玄海町	中山	県単さが農業農村振興整備事業	0.13	0	未周知
	玄海町	滝の上	県単さが農業農村振興整備事業	0.06	0	未周知
	合計			6.84	0	
総計				128.80	133	



第１図　平成18年度県内遺跡確認調査実施地区位置図

表２　佐賀県内遺跡確認調査地区一覧表
（平成18年度実施）

確認調査地区	**農林業基盤整備事業**
	佐賀東部地区
	１．神埼市（岩田集落内）
	佐賀西部地区
	２．佐賀市（筑後川下流地区）
	３．佐賀市（富士町市川地区）
	佐賀南部地区
	該当なし
	佐賀北部地区
	該当なし
	佐賀上場地区
	該当なし
	その他公共事業
	４．吉野ヶ里町（五ヶ山ダム地区）
	５．佐賀市（嘉瀬川ダム地区）
	６．佐賀市（佐賀城公園地区）

II. 平成18年度実施の文化財確認調査の概要

［1］ 農林業基盤整備事業等に係る文化財確認調査

1．佐賀東部地区の調査

第２図　佐賀東部地区調査区位置図（S=1:100,000）

1　岩田集落内（神埼市）

（1）神埼市　（第３図、図版１）

調査対象地区名　岩田集落内　ふるさと農道緊急整備事業

調査対象地所在地　佐賀県神埼市神埼町尾崎

調査対象面積　622m²（調査面積　24m²）

調査担当者　神埼市教育委員会　社会教育課文化財係　八尋　実

調査期間　平成18年11月13日～平成18年11月15日（のべ２日）

調査対象地区の立地　調査対象地は、神埼市神埼町の北西部に位置し、帯隈山と早稲隈山との間に開ける谷状地形（扇状地）の先端に位置する。

周辺の遺跡及び遺跡の内容　調査地の周辺には、帯隈山神籠石・天神尾古墳群や塚原遺跡など縄文時代から近世までの遺跡が所在する。

調査方法　８箇所の試掘坑（トレンチ）を設定し、表土の除去を行い、人力による精査を行った。

調査内容　**（検出遺構）**　遺構は検出されなかった。

（出土遺物）　遺物は確認されなかった。

所見・その他　調査の結果、遺構・遺物ともに確認されなかったため、特に問題のない地区と判断される。

調査後の取り扱い　工事着手

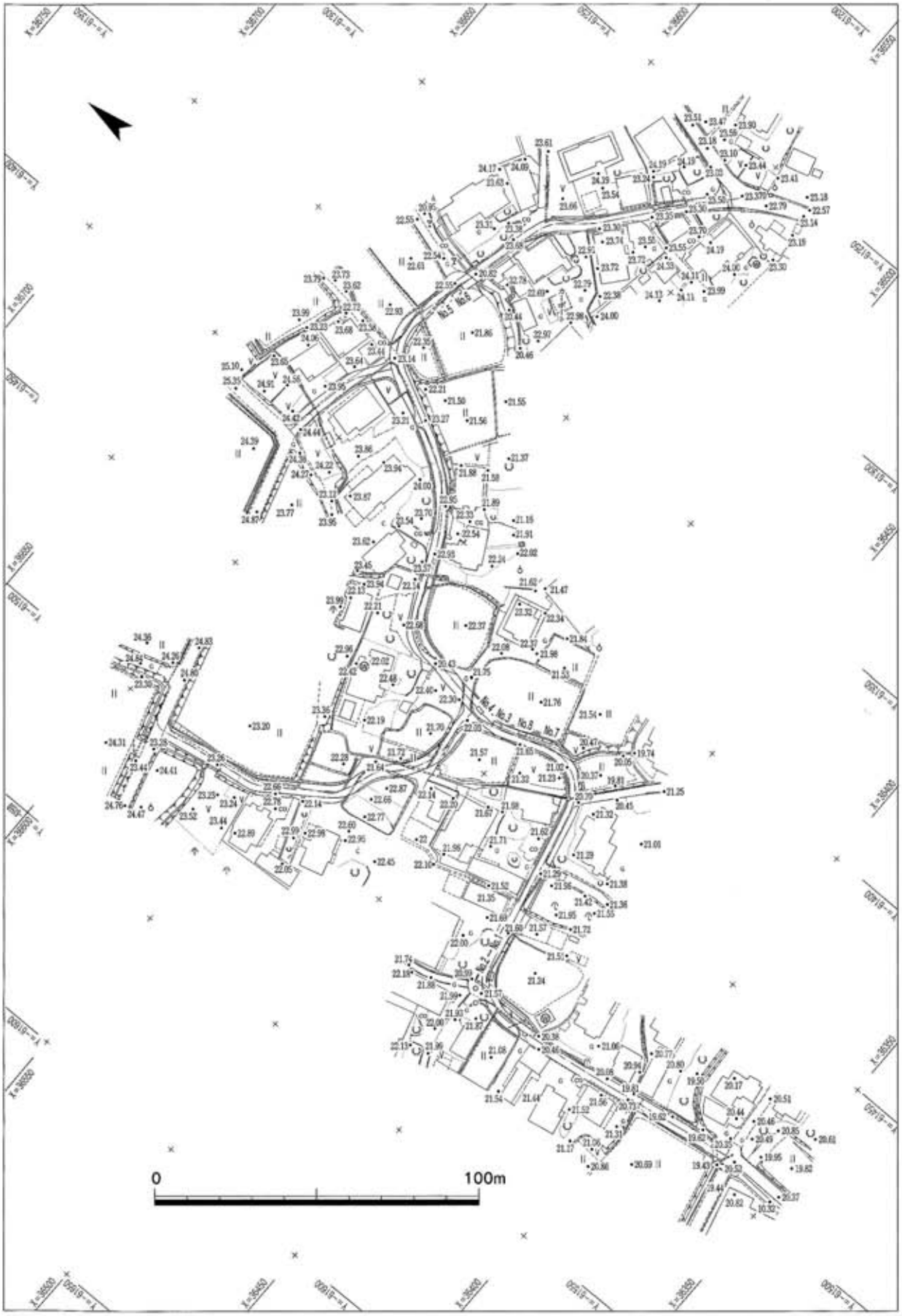
1　確認調査作業状況

2　確認調査状況

3　確認調査作業状況

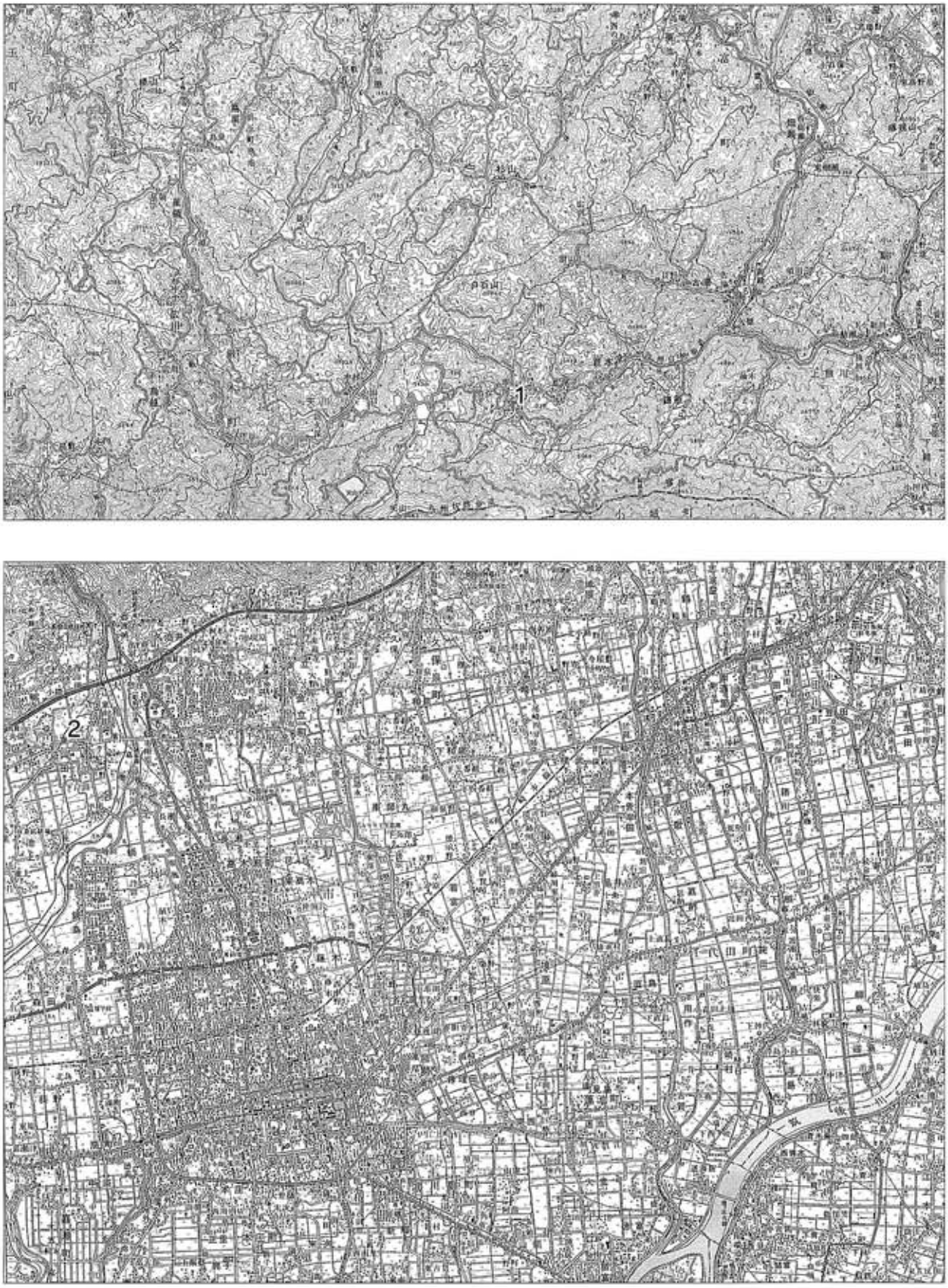
4　No. 3 トレンチ

図版１　神埼市：ふるさと農道緊急整備事業　（岩田集落内）



第３図　神埼市：ふるさと農道緊急整備事業　（岩田集落内）トレンチ配置図（S=1:500）

2．佐賀西部地区の調査



第４図　佐賀西部地区調査区位置図（S=1:100,000）

1　富士南部地区（佐賀市）　　2　右岸幹線水路　立石地区（佐賀市）

（1）佐賀市　（第４～６図、図版２～６）

調査対象地区名　富士南部地区　県営中山間地域総合整備事業
村づくり基盤整備施設事業（富士町市川地区）

調査対象地所在地　佐賀県佐賀市富士町大字市川2502横ほか

調査対象面積　300m²　（調査面積　38.4m²）

調査担当者　佐賀市教育委員会文化財課　文化財係　山口一郎

調査期間　平成19年1月23日～平成19年1月24日（のべ２日）

調査対象地区の立地　旧富士町南西域の山間部に所在する市川集落にあたり、天山から延びてきている丘陵上に位置する。調査地の現況は、水田及び畑地（段々畑）である。

周辺の遺跡及び遺跡の内容　これまで市川遺跡における本調査の事例はない。また、合併前の旧富士町時代に実施された確認調査においても、少量の遺物が出土しているものの、遺構の確認はされておらず、遺跡の様相については不明な点が多い。

調査方法　農業用道路全域のうち、トレンチ（試掘坑）設定が可能な水田の一部、および畑地の一部を調査した。水田の調査では、丘陵北側斜面の既設道路から掘削機を搬入し、トレンチ内の確認調査を行った。畑地部分では、発掘作業員による人力掘削により確認調査を実施した。

調査内容　**（検出遺構）**　確認されなかった。
（出土遺物）　確認されなかった。

所見・その他　計５本のトレンチを設定し調査を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかったので、本調査の必要性はないものと考える。

調査後の取り扱い　工事実施

図版２　佐賀市：村づくり基盤整備施設事業（富士町市川地区）①　確認調査作業状況（西から）

1　調査状況（掘削機使用）

2　人力による発掘調査状況

3　人力による発掘調査状況

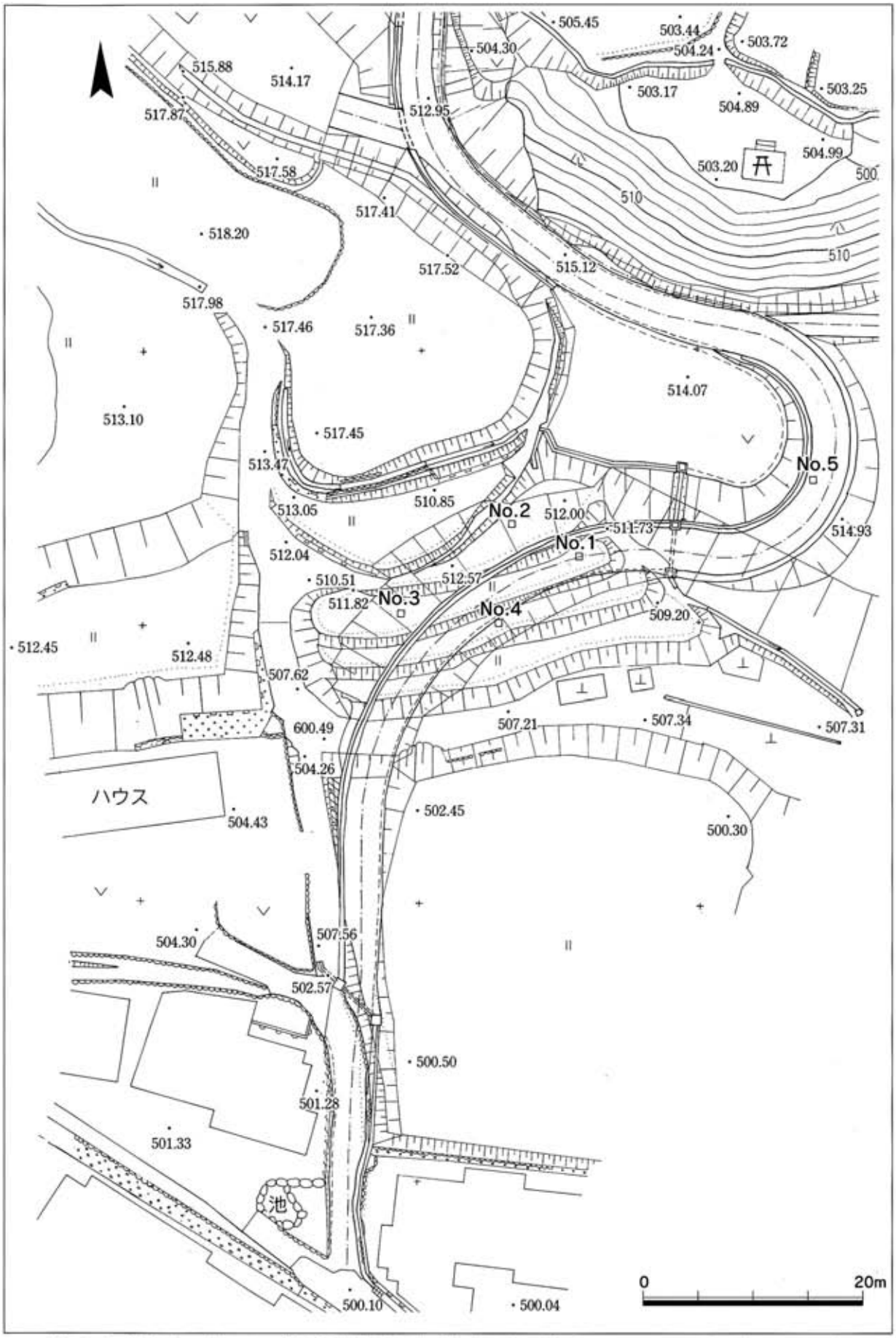
4　No. 2 トレンチ（西から）

5　No. 2 サブトレンチ土層

6　No. 5 トレンチ南端サブトレンチ

7　調査地区遠景（東から）

図版3　佐賀市：村づくり基盤整備施設事業（富士町市川）②



第５図　佐賀市：村づくり基盤整備施設事業（富士町市川地区）トレンチ配置図（S=1：500）

調査対象地区名　筑後川下流農業水利事業（右岸幹線水路工事）

開発事業者　九州農政局佐賀農地防災事業所長

開発目的　農業用水管埋設工事

開発の届出日　平成18年9月6日（18佐中防第362号）

調査対象地所在地　佐賀県佐賀市大和町大字川上

調査対象面積　9,084m²　（調査面積　133m²）

調査担当者　佐賀市教育委員会文化財課　主任　山口　亨

調査期間　平成18年11月20日～平成18年11月24日（のべ４日）

調査対象地区の立地　嘉瀬川右岸の沖積平野に立地する。周囲は水田となっているが、西にかけて次第に地形は高くなり、段丘面が見られる。その段丘面には、弥生時代の集落遺構が形成されている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容　北西約300ｍの七ケ瀬遺跡では、弥生時代の甕棺墓が発見されている。また、東約200ｍの東山田四本松遺跡では、遺構は発見されていないが、弥生時代の遺物包含層が確認されている。

調査方法　開発区内に18本のトレンチを設定し、遺構の有無を確認した。

調査内容　**（検出遺構）**　No.16トレンチで弥生時代の甕棺墓を１基確認した。他のトレンチからは遺構は確認されなかった。

（出土遺物）　No.６トレンチから瓦器椀破片を採集した。

所見・その他　No.16トレンチで弥生時代の甕棺墓を１基確認したが、その他の遺構は確認されていない。甕棺墓周辺の水路掘削工事に際しては、市文化財課職員立会いのもと、人力により実施し、水路床面が甕棺墓上面にまで及ばないように実施した。さらに、シートで養生し、流水時に甕棺墓へ影響が発生しないように配慮した。

調査後の取り扱い　工事立会

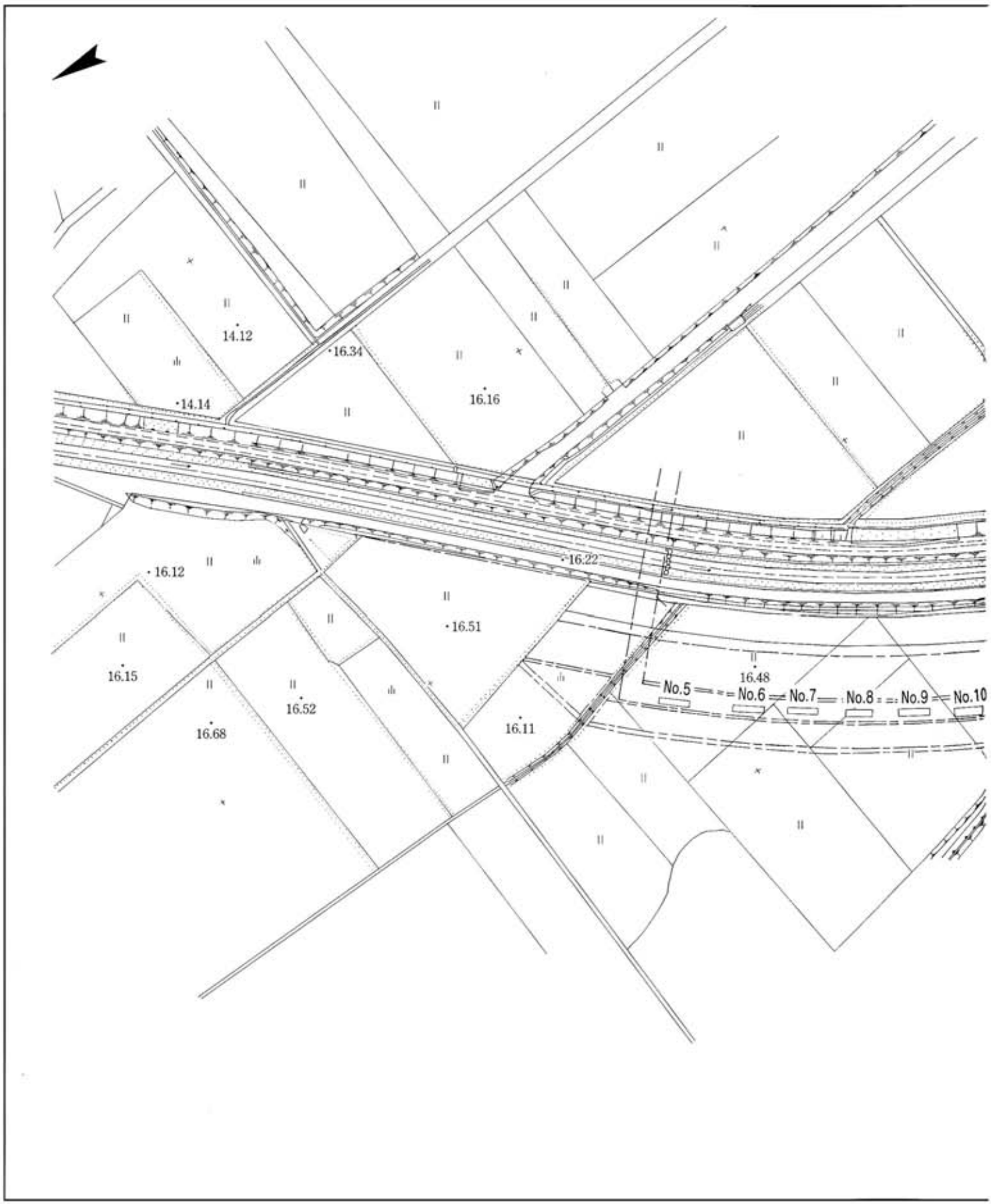
１　調査区遠景（南から）

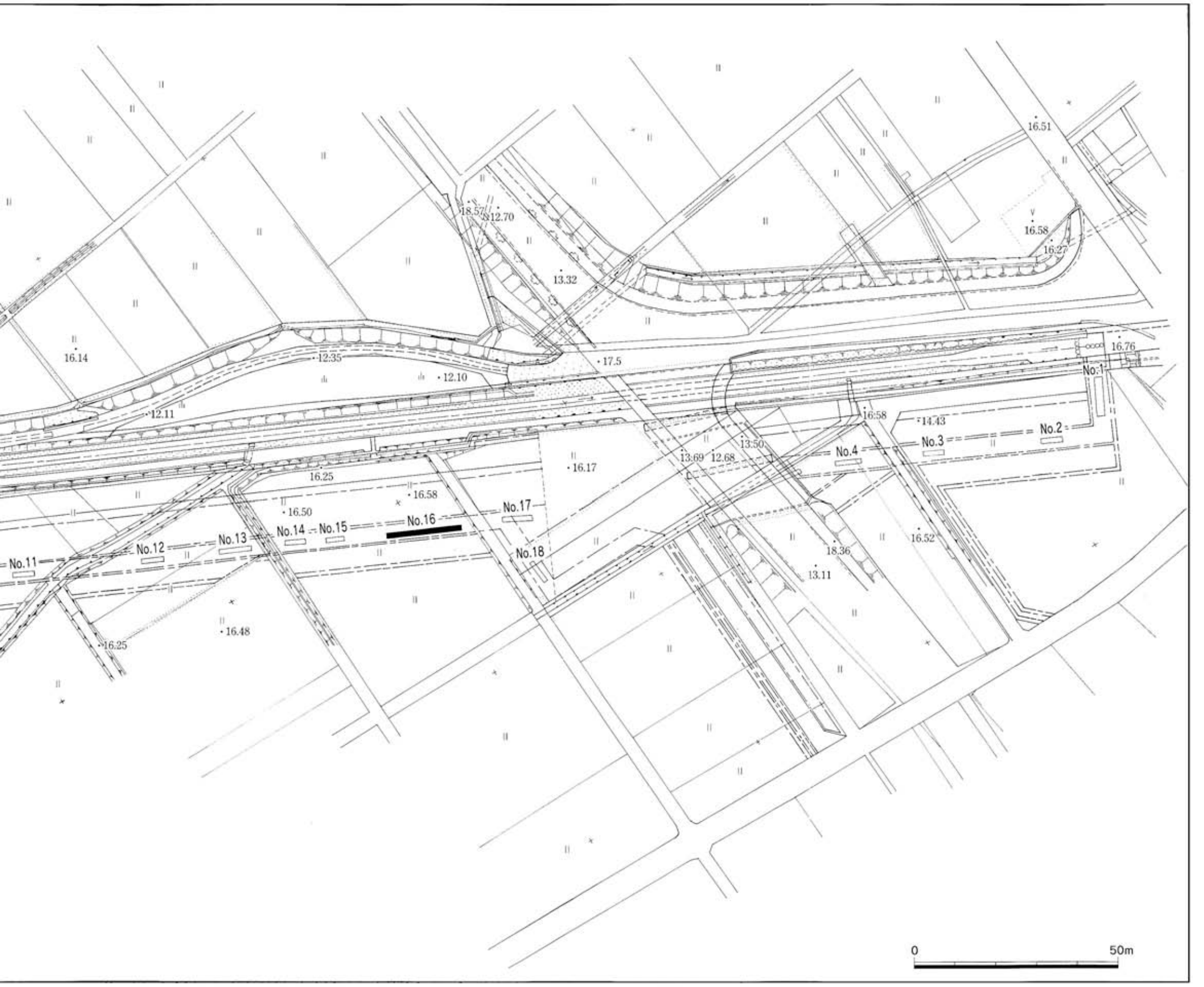
図版４　佐賀市：国営総合農地防災事業右岸幹線水路工事（佐賀中部地区）①

1　No.16トレンチ　甕棺墓検出状況（南から）

2　No.16トレンチ　甕棺墓掘り下げ状況（南西から）

図版５　佐賀市：国営総合農地防災事業右岸幹線水路工事（佐賀中部地区）②


14.12
16.34
14.14
16.16
16.22
16.12
16.51
16.15
16.52
16.68
16.11
16.48
No.5
No.6
No.7
No.8
No.9
No.10


16.51
18.57
12.70
16.58
16.27
13.32
16.14
12.35
17.5
12.10
16.76
No.1
12.11
16.58
14.43
No.2
No.3
13.50
No.4
13.69
12.68
16.17
16.25
16.58
16.50
No.17
No.16
No.14
No.15
No.13
No.12
No.11
No.18
18.36
16.52
13.11
16.48
16.25
0
50m

1　調査前（南から）

2　調査状況

3　発掘作業員による作業状況

4　No. 8 トレンチ西壁土層

5　発掘作業員による作業状況

6　No.13トレンチ西壁土層

7　No.16トレンチ　遺構検出状況（南から）

8　No.16トレンチ　遺構掘り下げ状況（北西から）

図版 6　佐賀市：国営総合農地防災事業右岸幹線水路工事（佐賀中部地区）③

［2］その他公共事業等に係る文化財確認調査

1．那珂川総合開発事業（五ケ山ダム建設事業）に係る文化財確認調査

（1）吉野ヶ里町　（第7～16図、図版7～10）

調査対象地区名　五ケ山ダム建設事業水没地区　第５地点～第10地点

開発事業者　福岡県（五ケ山ダム建設事務所）

依頼日　平成17年９月９日（17五ダム第4097号）

調査対象地所在地　佐賀県神埼郡吉野ケ里町小川内（旧東脊振村）（五ケ山ダム建設予定地）

調査対象面積　535,000m²

調査担当者　佐賀県教育委員会文化課　文化財指導担当　係長 樋口秀信、同主査 白木原宜

調査期間　平成18年11月6日～平成18年12月22日

調査対象地区の立地　調査対象地は、坂本峠（国道385号線）を福岡県側に下った山間部に所在する。対象地に沿って、福岡県との県境をなす那珂川が流れており、那珂川町を経由して福岡市に流下する。

周辺の遺跡及び遺跡の内容　調査対象地区は、戦国時代から肥前国と筑前国の領土が接していた場所で、特に佐賀鍋島藩と福岡黒田藩とは藩境・藩政をめぐって対峙しており、在住の農民層が帯刀を許されており、佐賀県域において特異な地域である。現状では、周辺（佐賀県域）に周知の埋蔵文化財包蔵地等、遺跡は確認されていないが、事業地区内には、県天然記念物の小川内の杉が所在する（小川内山祇神社境内：昭和31年指定）。

調査概要　幅１～２ｍ前後のトレンチ100本を任意に設定し、掘削機および人力を用いて調査した。

調査結果のまとめ

・第５地点

・昨年度に引続き調査を行った。遺構は確認されなかった。
一部のトレンチから遺物が出土したが、遺構の存在を示すものではない。

・第６地点

・遺構は確認されなかった。一部のトレンチから遺物が出土したが、遺構の存在を示すものではない。

・第７地点

・室町時代の石列跡（崩壊した石垣跡か）が確認された。同時期の遺物包含層の広がりから、他にも遺構が残存することが予想される。

・一部に未調査箇所があるので面積の増加がありえるが、現時点では、11,500m²について本調査を実施する必要がある。

・なお、調査区周辺の山塊裾部および田畑については、遺構の存在が予想されることから、今後、確認調査を実施する必要がある。

・第８地点

・遺構は確認されなかった。一部のトレンチから遺物が出土したが、遺構の存在を示すものではない。

・第９地点

・遺構は確認されなかった。一部のトレンチから遺物が出土したが、遺構の存在を示すものではない。

・第10地点

・遺構は確認されなかった。遺物が出土したが、遺構の存在を示すものではない。

調査所見　・第７地点を除き、確認調査を実施した地点の工事については支障ないと考えられる。

・第７地点については本調査が必要だと考えるが、今後、調査面積を確定させる必要がある。

各調査地点の詳細

（第５地点）

①調査経過　・平成17年度からの継続調査

＊トレンチ番号は新規

②調査方法　・トレンチ14本を任意に設定し、掘削機および人力を用いて調査した。

③調査結果　・調査区西部～中央の平坦部については、大きく削平されており遺構は確認されなかった。分厚い客土（撹乱土・産廃等）の直下からは岩盤（花崗岩風化土）が露出した。

・調査区中央から東部にかけては、石垣による段々の区画が連続していたようだが、大きく削平されており、端々にのみ石垣が残存していた。地形に沿ってトレンチを設定したが、No.３トレンチ・No.４トレンチでは、石垣の一部や基部等が確認された。石垣の裏込めから出土した遺物から、これら石垣の建設時期は近世期である可能性がある。建物の痕跡等は確認されなかった。

・表土および堆積土からは、中世陶磁器・土師器・縄文土器等の破片の他、石鏃・サヌカイト・黒曜石が出土した。

④所　　見　・調査対象地は、近世期に石垣により連続する段が構築されていたと考えられるが、その性格は不明である。石垣も、大部分は工事により破壊されており、端々に残存するにすぎない。また、中世期の遺物が点在しているが、当地に何らかの施設が存在したと考えるよりも、丘陵地（調査区よりも南西側）からの流れ込みと理解したほうがよさそうである。

・当地点の工事については支障ないものと判断する。

（第６地点）

①調査方法　・トレンチ５本を任意に設定し、掘削機および人力を用いて調査した。

調査区は那珂川に沿った平坦部（現在の田畑）と背後の山塊からの急傾斜地からなり、トレンチは平坦部に設定した。

②調査結果　・各トレンチから遺構は確認されなかった。H15トレンチの耕作土から土師器片が出土した以外、遺物は出土しなかった。

③所　　見　・当地点の工事については支障ないものと判断する。

（第７地点）

①調査経過　・小川内集落跡にあたる。残存する建築物等を除き調査を実施。ただし、建築物解体の際の撹乱（ゴミ穴）等が多数。調査環境はよくない。

②調査方法　・トレンチ56本を任意に設定し、掘削機および人力を用いて調査した。

③調査結果　・那珂川に沿った低平地からは、遺構は確認されなかった。遺物（陶磁器・土師器？）は出土したが、斜面上からの流れこみだと考えられる。トレンチからは河川堆積物（川原石・砂等）

が確認された。

・現集落中心部については、主に中世から近世の遺物が出土した。鎌倉時代の遺物もあるが、室町時代のものも多くみられた。

・No.24トレンチおよび　No.27トレンチ（No.24トレンチの拡張）からは、石垣の残骸と考えられる石の並びが確認された。石垣の裏込めにあたる箇所からは室町時代の土器類が大量に出土した。

・全体的にみると、中世期の遺物が多く集落等があった可能性が高いが、現集落と重複する地点であるため、削平が激しく正確な情報は得られないままである。

・ただし、遺物が出土した約11,500m²については、遺構が存在する可能性が高く、本調査を実施する必要がある。

④所　　見　・未調査箇所があるため調査面積が増加する可能性はあるが、少なくとも現時点で11,500m²については本調査を実施し保護対策を講じるべきと考える。

・また、調査区南西部の山塊裾部および南東部の田畑については、遺構の残存が予想されることから、伐採等終了後、確認調査を実施する必要がある。

（第８地点）

①調査経過　・調査対象地の北端。小川内集落跡よりも北東の棚田が広がる地点である。踏査では、当地区西側の山塊中（現杉林）にも棚田等の石垣が累々と認められる。

②調査方法　・トレンチ12本を任意に設定し、掘削機および人力を用いて調査した。

③調査結果　・すべてのトレンチから遺構は確認されなかった。また、No.49トレンチ、No.59トレンチから陶磁器片・土師器片等が出土したが、他のトレンチから遺物は出土しなかった。

④所　　見　・当地点の工事については支障ないと考える。

（第９地点）

①調査経過　・調査対象地の北端に近い。第８地点の南側に位置しており、間を谷川が東流する。

②調査方法　・トレンチ10本を任意に設定し、掘削機および人力を用いて調査した。

③調査結果　・すべてのトレンチから遺構は確認されなかった。また、一部のトレンチから陶磁器片が出土したが、遺構の存在を予想させるものではない。

④所　　見　・当地点の工事については支障ないと考える。

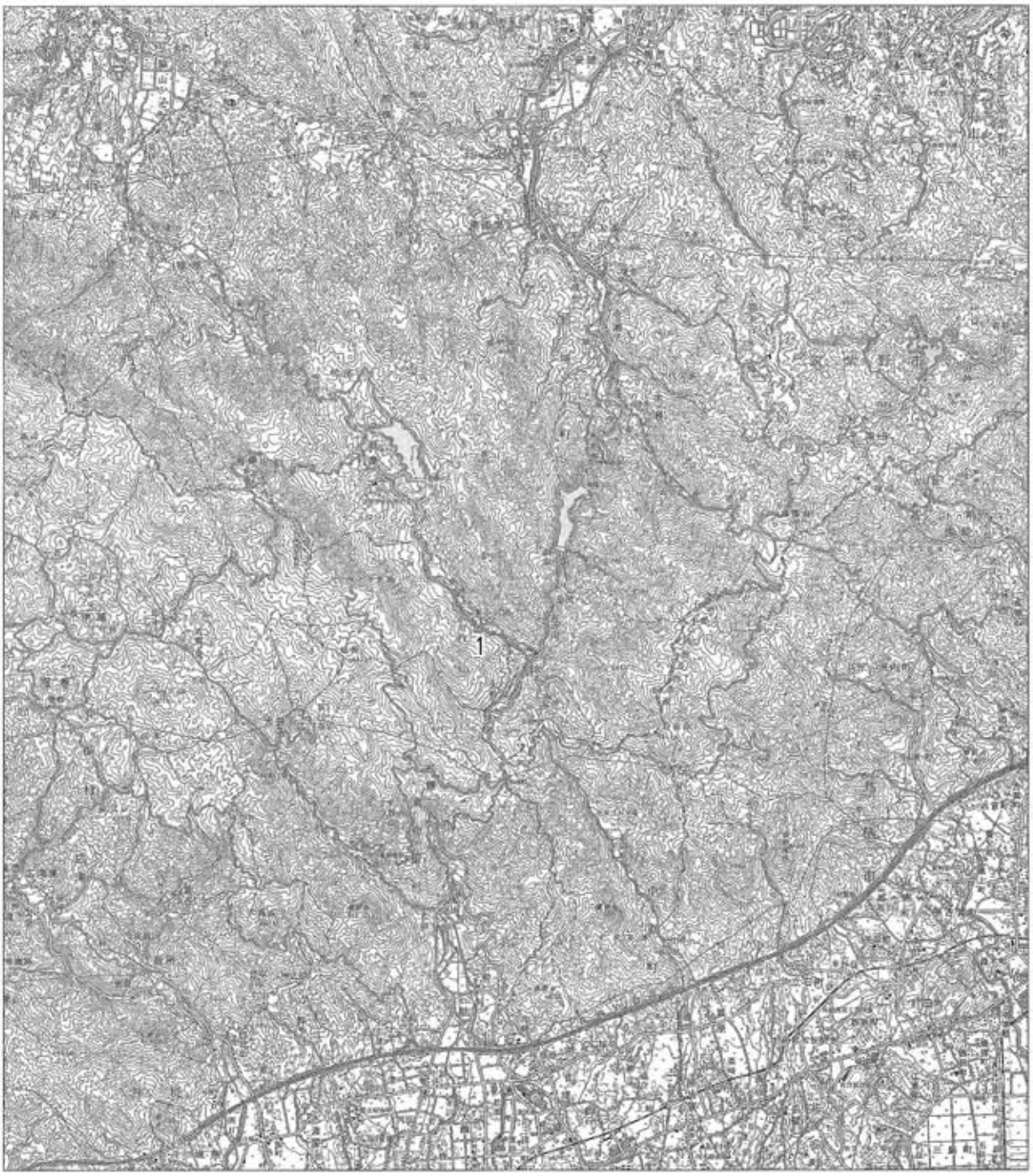
（第10地点）

①調査経過　・小川内集落の北西、那珂川沿いの低平地である。

②調査方法　・調査地点の南東端にトレンチ１本を任意に設定し、掘削機および人力を用いて調査した。

③調査結果　・遺構は確認されなかった。遺物は、表土層から近現代の陶磁器他とともに中世の瓦器椀片が出土したのみである。

④所　　見　・当地点の工事については支障ないと考える。



第７図　吉野ケ里町：那珂川総合開発事業（五ケ山ダム建設事業）調査区位置図（S=1:100,000）

1　五ケ山ダム事業地区（第５～第10地点）

1　掘削機稼動状況

2　発掘作業状況

3　発掘作業状況（第７地点　No.24トレンチ北から）

4　第５地点　No.２トレンチ　東から

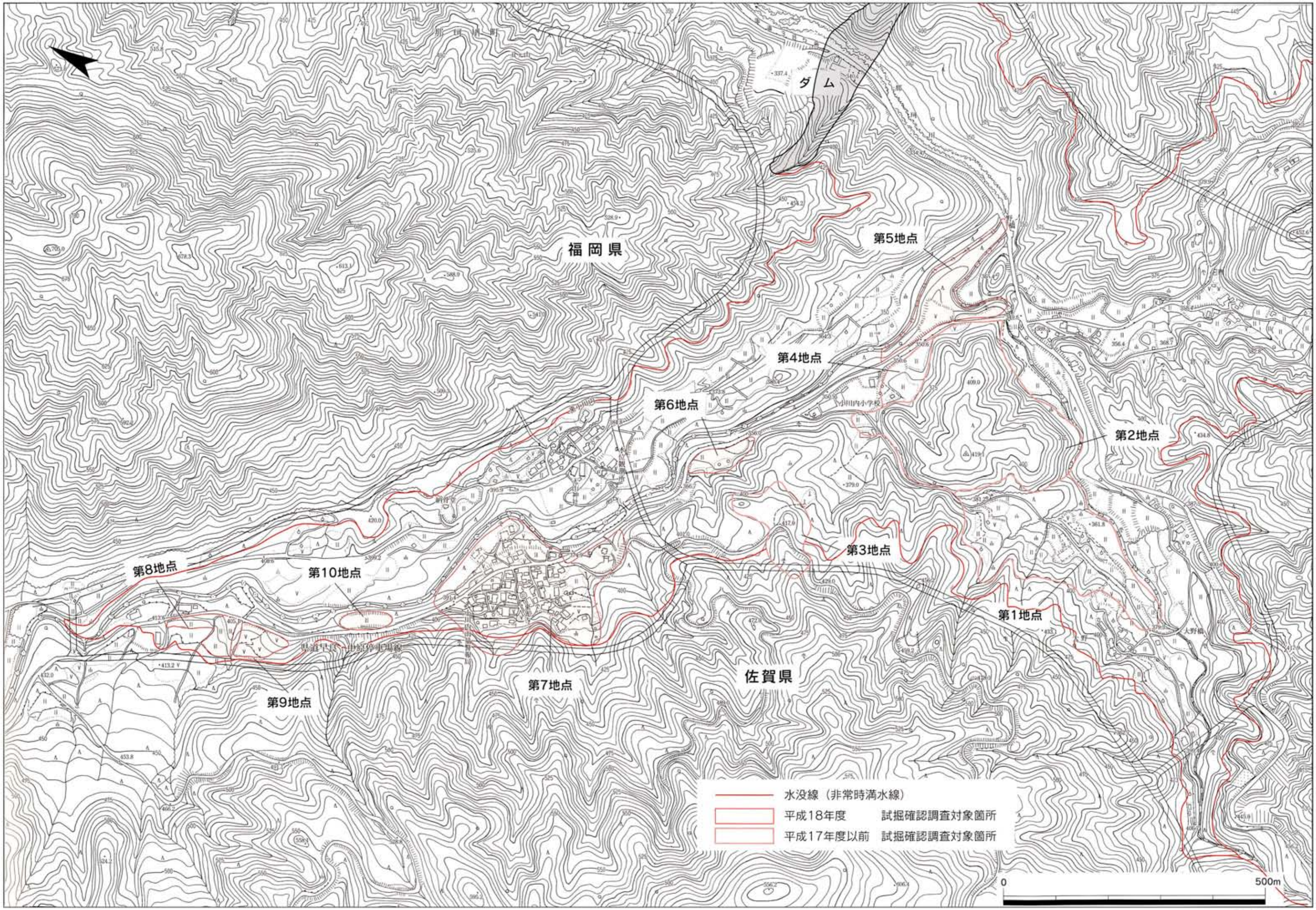
5　第５地点　No.２トレンチ土層　北壁東端

6　第５地点　No.５トレンチ　西から

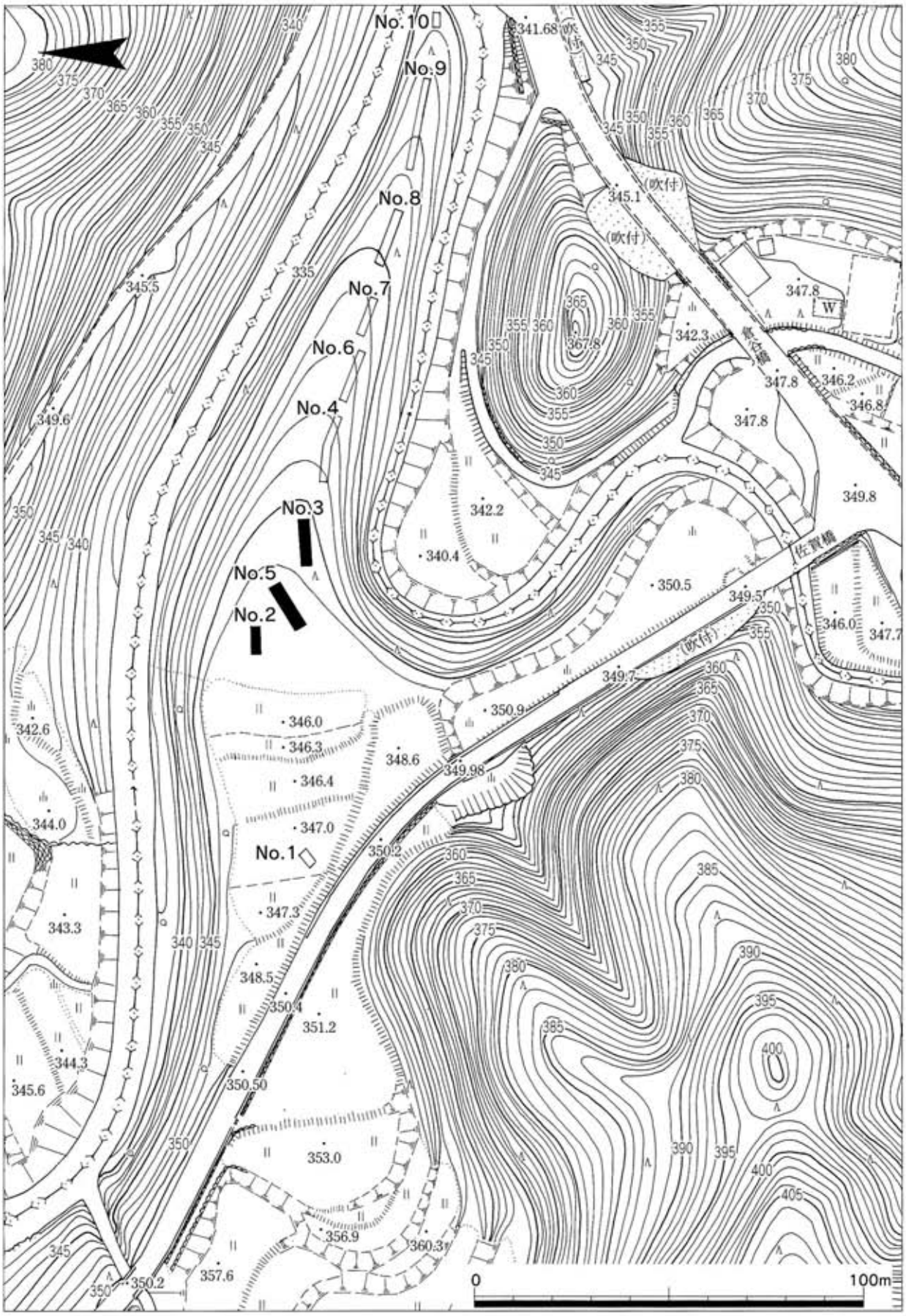
7　第７地点　No.13トレンチ　北西から

8　第７地点　No.17トレンチ　東壁北端

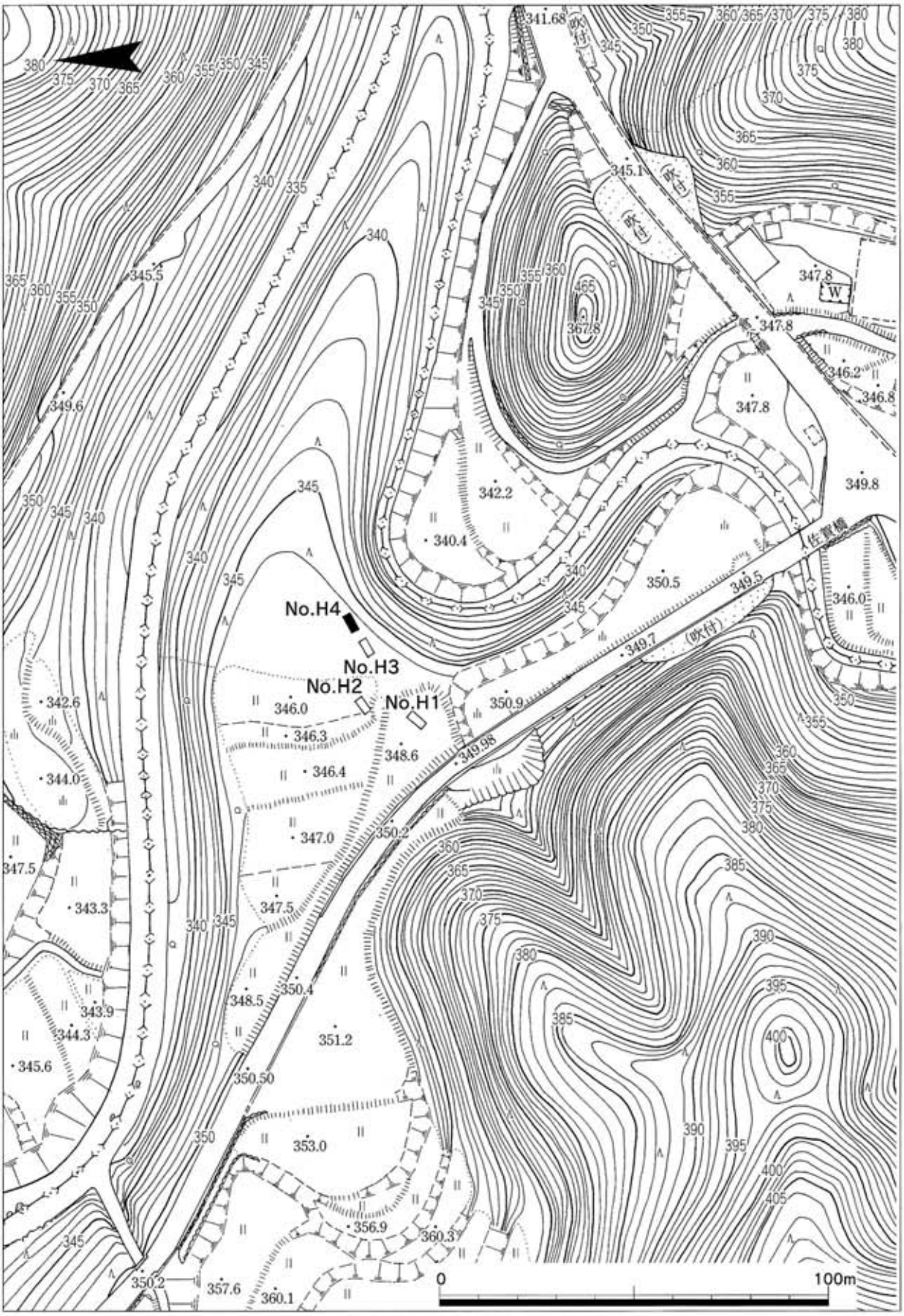
図版７　吉野ヶ里町：五ヶ山ダム建設事業①



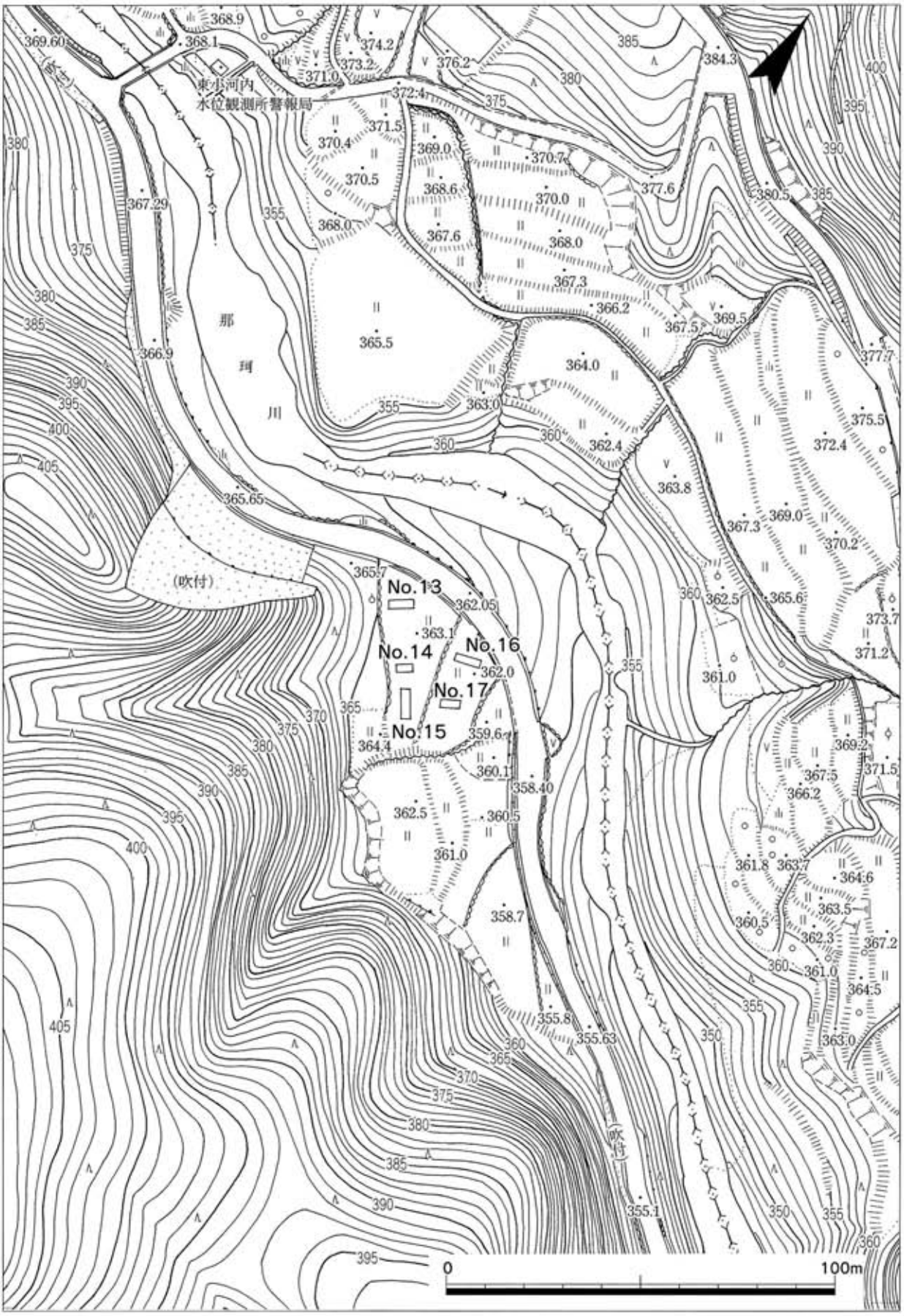
第８図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　調査対象地区位置図



第９図　吉野ケ里町：五ケ山ダム建設事業　第５－１地点トレンチ配置図



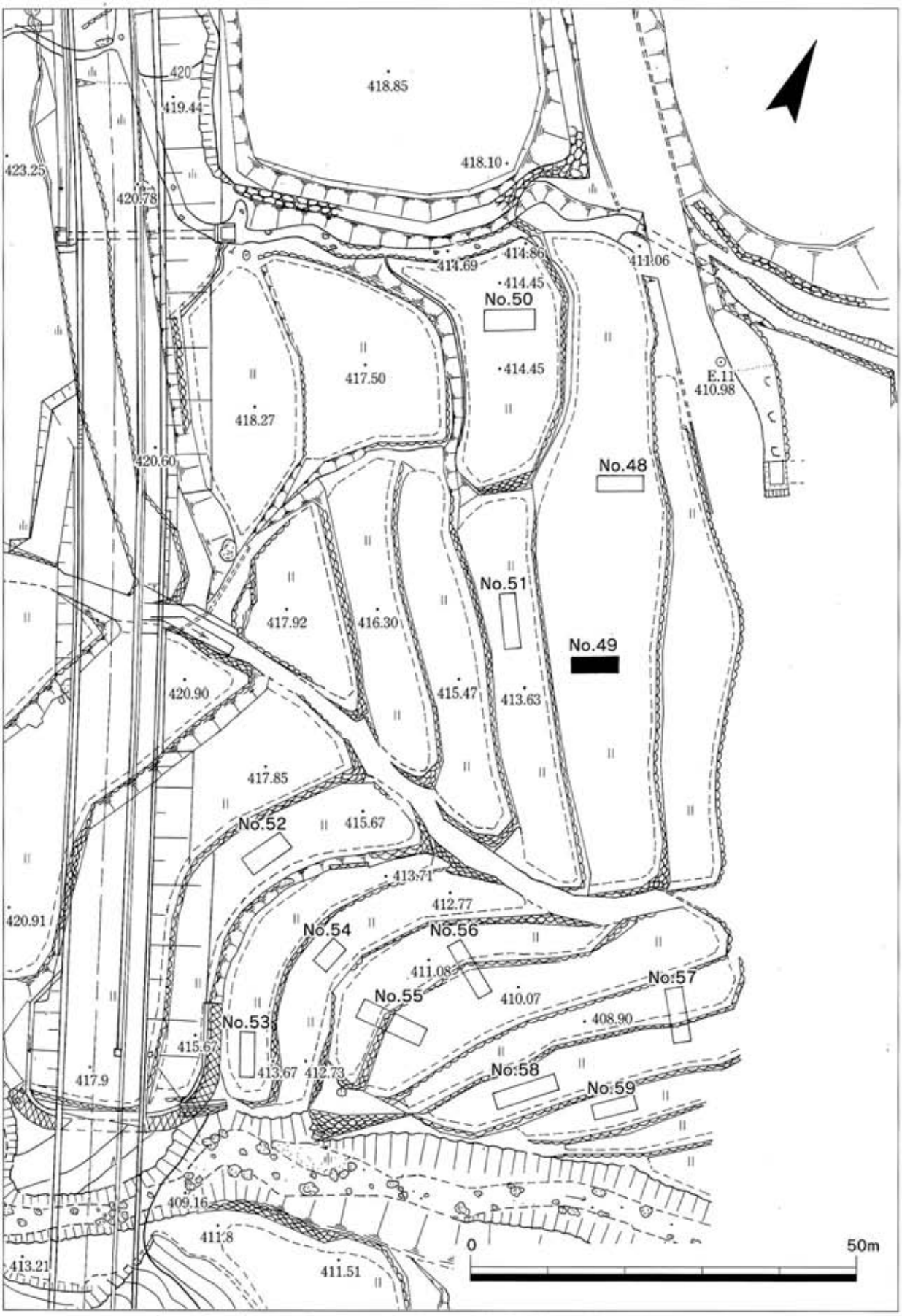
第10図　吉野ケ里町：五ケ山ダム建設事業　第５－２地点トレンチ配置図



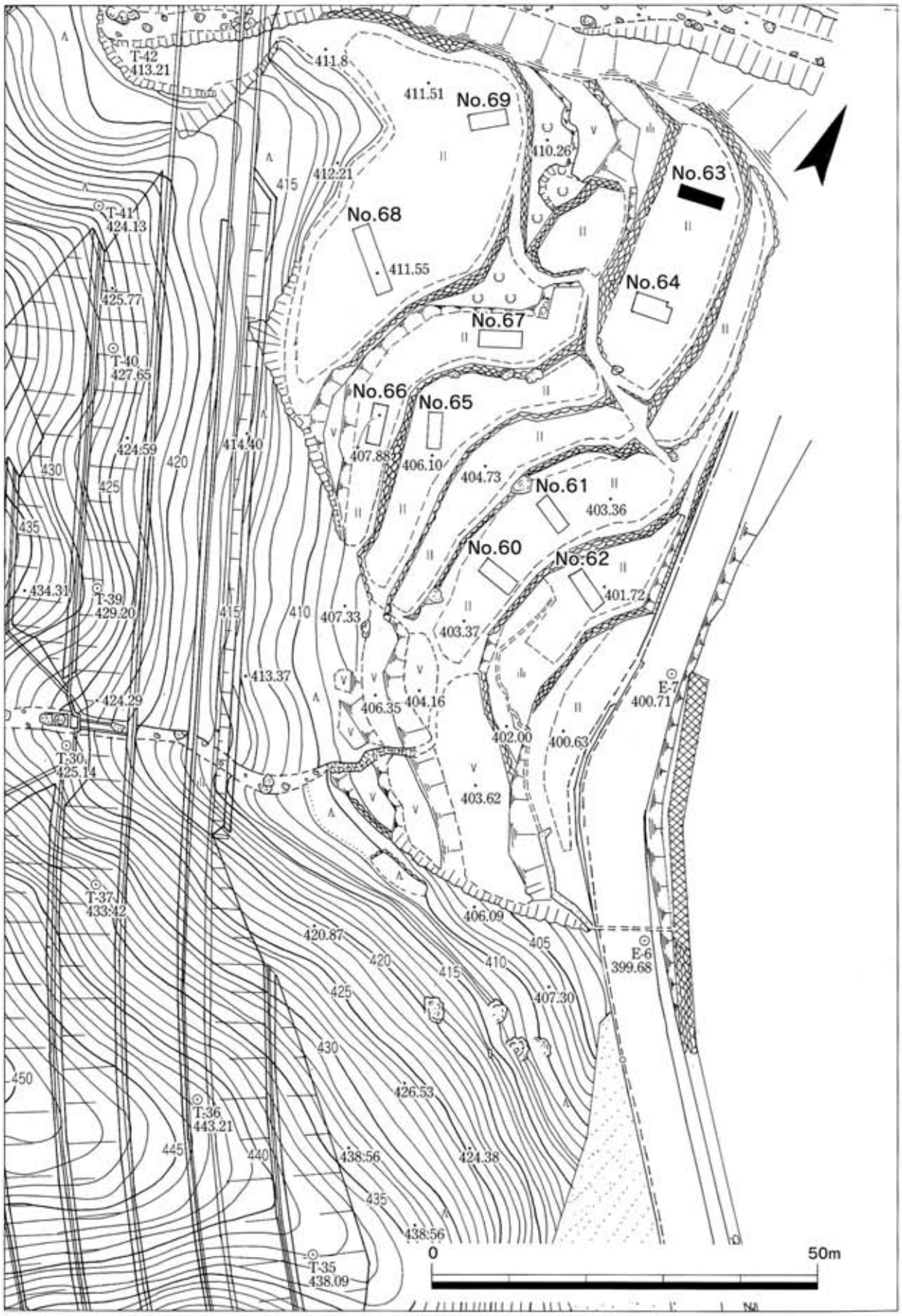
第11図　吉野ヶ里町：五ケ山ダム建設事業　第６地点トレンチ配置図

第12図　吉野ケ里町：五ケ山ダム建設事業　第７－１地点トレンチ配置図

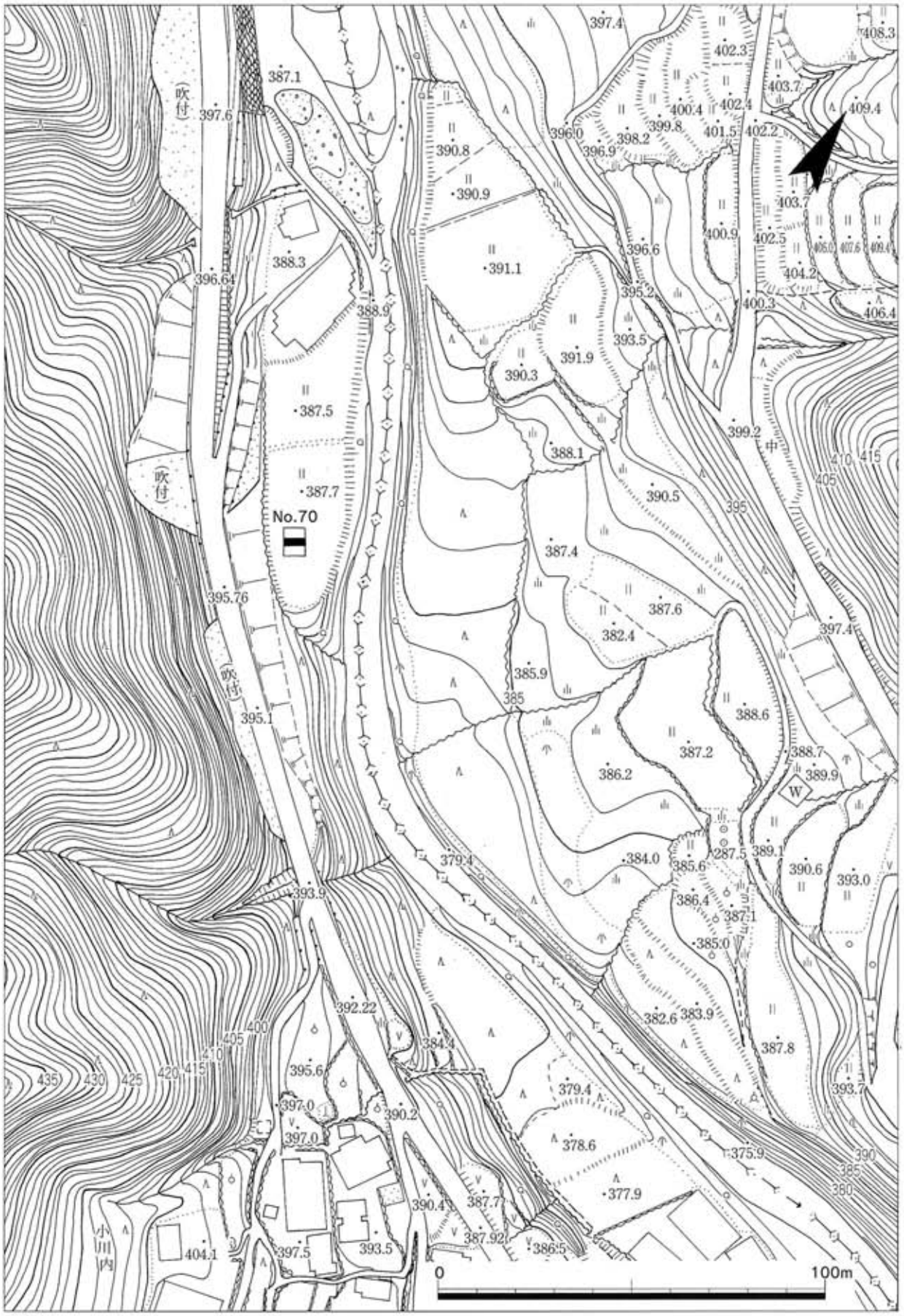
第13図　吉野ケ里町：五ケ山ダム建設事業　第７－２地点トレンチ配置図



第14図　吉野ケ里町：五ケ山ダム建設事業　第８地点トレンチ配置図



第15図　吉野ケ里町：五ケ山ダム建設事業　第９地点トレンチ配置図



第16図　吉野ケ里町：五ケ山ダム建設事業　第10地点トレンチ配置図

1　第７地点　No.21トレンチ　北から

2　第７地点　No.23トレンチ　南から

3　第７地点　No.24トレンチ　北から

4　第７地点　No.24トレンチ　南から

5　第７地点　No.27トレンチ土層　東壁北端

6　第７地点　No.28トレンチ土層　西壁北端

7　第７地点　No.30トレンチ土層　東壁北端

8　第７地点　No.36トレンチ土層　東壁北端

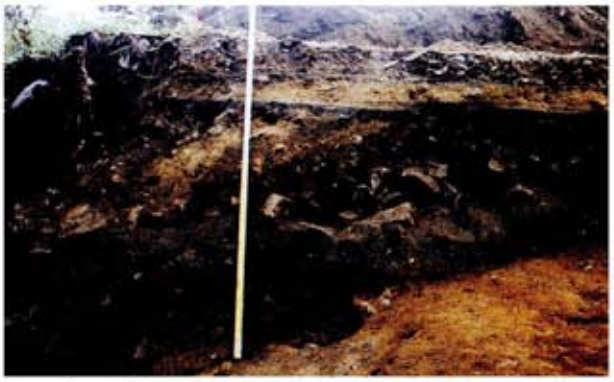
図版８　吉野ケ里町：五ケ山ダム建設事業②

1　第７地点　No.36トレンチ掘り下げ後（西から）

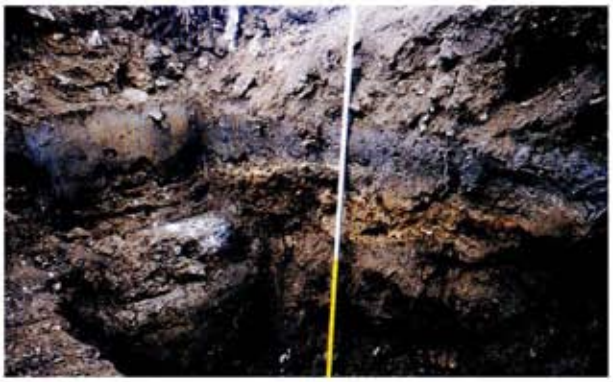
2　第７地点　No.37トレンチ土層　東壁北端

3　第７地点　No.39トレンチ土層　東壁北端

4　第７地点　No.40トレンチ土層　東壁北端



5　第７地点　No.41トレンチ土層　東壁



6　第７地点　No.42トレンチ土層　東壁北端

7　第７地点　No.44トレンチ土層　東壁北端

8　第７地点　No.45トレンチ土層　東壁北端

図版９　吉野ケ里町：五ケ山ダム建設事業③

1　第７地点　No.46トレンチ土層　東壁中央

2　第７地点　No.47トレンチ土層　東壁北端

3　第８地点　No.49トレンチ土層　北西壁

4　第８地点　No.59トレンチ　北東から

5　第10地点　No.70トレンチ土層　北から

6　第10地点　No.70トレンチ　北から

7　第７地点　H15トレンチ　東から

8　第７地点　H25トレンチ　南から

図版10　吉野ケ里町：五ケ山ダム建設事業④

表3　吉野ヶ里町：五ヶ山ダム建設事業　確認調査出土遺物一覧表

トレンチ	層　他	内　　容	備　考
2	2層	サヌカイト　黒曜石　土師器片	第5－1地点
2	3層	中世陶磁器椀　サヌカイト　陶片　土師器片	〃
2	3層下層	弥生土器片(？)　石鏃	〃
2	付近表採	石槍(サヌ)　土師器片　東播系擂鉢	〃
3	3層	黒曜石剥片　不明陶器	〃
3	5層	磁器　サヌカイト	〃
3	表土	陶磁器片(時期不明)　黒曜石　サヌカイト	〃
5	2層	土師器片　陶器片(？)	〃
5	6層	土師器　黒曜石チップ	〃
5	7層	縄文晩期甕(？)　黒曜石	〃
5	検出面	黒曜石	〃
5	石垣内	縄文片(？)　中世陶磁器椀片　土師器片	〃
9	表土	土師器片(？)	〃
11	2層	土師器片(？)	第7－1地点
13	表土	小皿(土師器)　他小片	〃
13	1層	染付茶碗(現代)	〃
13	2層	土師器(？)　陶器(？)	〃
13	3層	土師器片(？)　貿易陶磁(室町？)	〃
13	4層	小片	〃
13	5層	小片　サヌカイト	〃
15	検出面	小片	〃
16	2層	小片　染付片(江戸？)	〃
17	表土	火鉢(？)(時期不明)	〃
17	2層	土師器(？)　陶器片(？)	〃
18	2層	染付(江戸)	〃
18	3層	染付椀片(現代？)	〃
21	1層	小片不明	〃
21	2層	小片不明	〃
21	4層	土師器片(？)	〃
22	検出面	土師器片(？)	〃
23	3層	染付片(江戸)　瓦器片(？)　土師器片(？)	〃
24	2～3層	土鍋(室町)　土師器片　陶器片	〃
24	P1	磁器(江戸？)　土師器(？)	〃
24	P2	磁器(？)	〃
24	P3	土師器片(？)	〃
24	P4	小片	〃
24	P5	糸切皿　陶器(？)　土師器(？)	〃
24	P7	染付他(現代)	〃
24	P8	土師器片　土鍋(室町？)	〃
24	P9	陶器(？)	〃
24	P10	小片	〃
24	P11	糸切小皿　土鍋(室町？)	〃
24	SD1	土師器片(室町)	〃
24	SX1	糸切小皿　土鍋　土師器(？)	〃
26	3層	土師片(？)	〃
27	3層	土鍋(室町)	〃
27	4層	染付(江戸)　土師皿　土師器(室町？)　他	〃
28	2層	土師器(室町？)　近代陶磁器片	第7－1地点
30	3層	陶器(？)	〃
34	4層	龍泉椀(鎌倉)　土鍋(13後)	〃
36	2層	染付(江戸？)　火鉢？(江戸？)	〃
36	3層下層	土師(？)　白磁(？)　近現代陶器	〃
36	3層上面	現代陶磁器　土師器(室町？)	〃
36	4層	土師器(室町？)	〃
36	4層	土師皿(鎌倉？)　土鍋(鎌倉)	〃
37	3層	染付(江戸)他、茶碗類(江戸)	〃
37	4層	糸切小皿　染付(江戸？)　陶器	〃
39	4層	土師片(？)	〃
39	5層	染付(江戸？)　近現代陶器	〃
39	6層	土師片(？)	〃
39	9層	擂鉢(近現代？)	〃
39拡張	3層	染付(江戸)　土師器(中世？)	〃
40	4層	土師器(室町？)	〃
41	表土	糸切小皿　貿易陶磁(中世～) 染付(現代？)　土師(？)　近現代陶器	〃
41	6層	茶釜？(室町？)	〃
42	2層	土師片	〃
44	検出面	土師片	〃
44	2層	土師片	〃
45	3層	染付(現代)　土師器(時期不明)	〃
45	4層	染付茶碗(現代)	〃
46	検出面(混)	土器じゃない	〃
46	3層	染付・陶器(現代)	〃
47	2層	土師器(時期不明)　陶器片(時期不明)	〃
47	3層	火鉢(中世？)	〃
49	3層	縄文(？)　土師器(時期不明)	第8地点
59	表土	陶磁器片(時期不明)	〃
63	3層	陶片	第9地点
66	表土	陶磁器片	〃
70	2層	瓦器椀(鎌倉)　現代擂鉢　染付(江戸？)	第10地点
70		近現代の陶磁器　土師器	〃
H3		土師器(時期不明)　サヌカイト	第5－2地点
H4	耕作土	石鏃(黒曜石)　貿易陶磁　土師器　サヌカイト	〃
H4	包含層	貿易陶磁(鎌倉)	〃
H4		不明土師器片	〃
H15	耕作土	土師器(？)	第6地点
H19	造成土	茶碗(現代)　瓦(現代)	第7－2地点
H19		土師器　陶片(？)	〃
H22	造成土	擂鉢(現代)	〃
H25	タタキ直上面	土鍋　須恵器片　石鍋片	〃
H25	タタキ面	陶器(現代？)	〃
H26	表土	小片(時期不明)　染付(現代)	〃
H26	水田	土師器片(？)	〃
H27	耕作土	貿易陶磁(？)　土師器(？)片　陶片	〃

2．嘉瀬川ダム建設事業に係る文化財確認調査

(1) 佐賀市　(第17～20図、図版11～13)

調査対象地区名　嘉瀬川ダム建設事業（付替市道小ケ倉音無線）

調査対象地所在地　佐賀市富士町大字大野字入道

調査対象面積　47,000m²（調査面積　37.1m²）

調査担当者　佐賀県教育委員会文化課　主査 徳永貞紹、指導主事 加藤吾郎、指導主事 佐々木忠俊

調査期間　平成18年７月27日～平成18年７月28日

調査対象地区の立地　地蔵平遺跡隣接地は、東西の谷頭が接する狭小な平坦地。入道遺跡は、両側を谷に挟まれた標高310ｍ前後の丘陵先端部。

周辺の遺跡及び遺跡の内容　入道遺跡（縄文時代）・地蔵平遺跡（旧石器～縄文時代）の範囲内及びその隣接地。小ケ倉遺跡（旧石器～縄文時代、中近世）・音無瓦窯跡（近世～近代）にも隣接。

調査方法　人力で試掘坑を掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。

調査内容　**(検出遺構)**　なし。

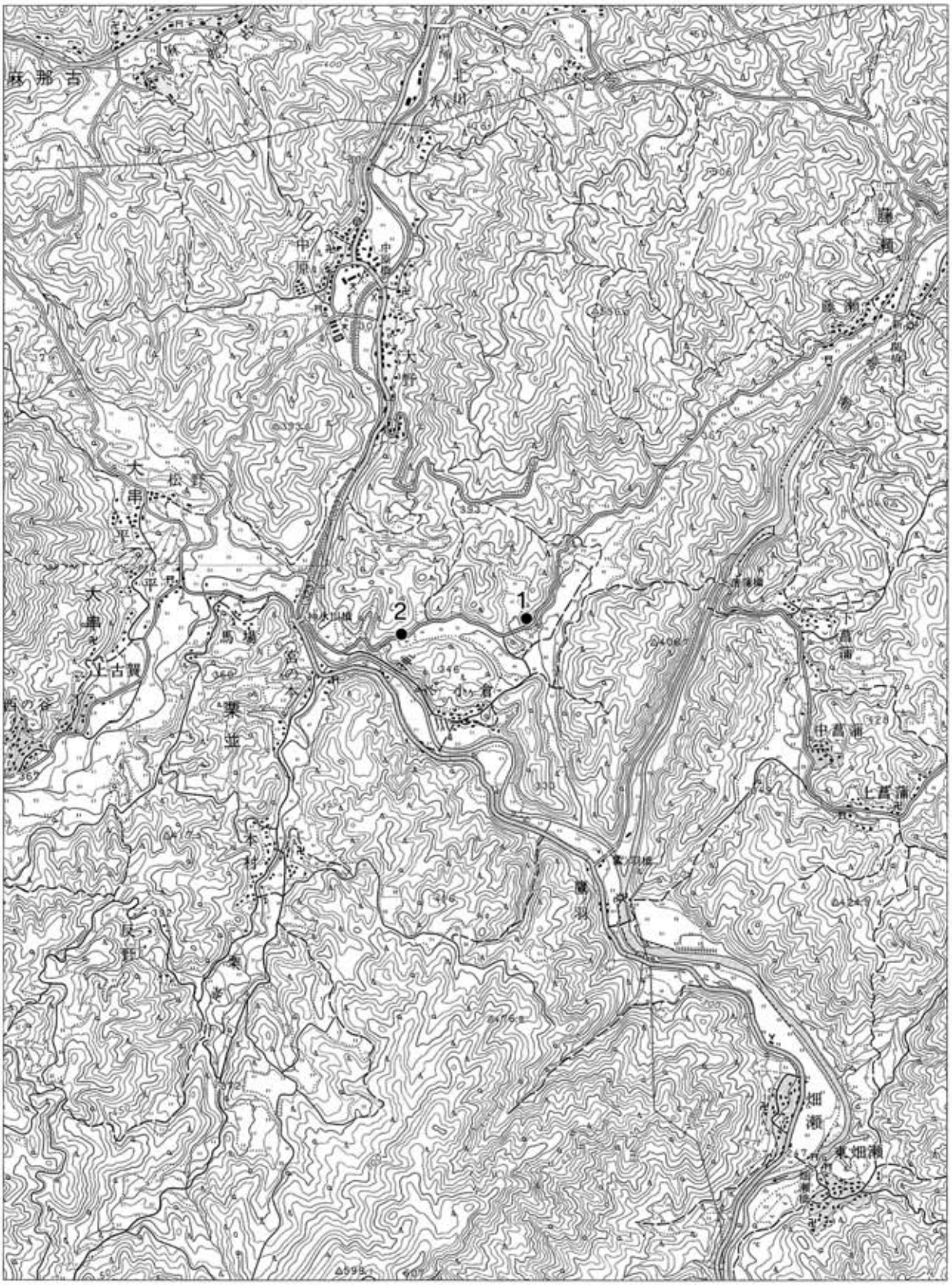
(出土遺物)　入道遺跡で旧石器・縄文時代の石鏃・削器・剥片と土器細片が出土。細石刃石核を採集。表土中から近現代のガラス・陶磁器片が数点（回収せず）。地蔵平遺跡隣接地では剥片１点のみ出土。

所見・その他　事業予定地内の大部分は急斜度の丘陵斜面やダム貯水地内で既に遺跡が存在しないことが確認されている谷部であるが、事前調査により遺跡の存在する可能性がある２箇所の狭い平坦部が含まれていたために確認調査を実施した。

その結果、地蔵平遺跡隣接地では安山岩剥片１点が出土したにとどまったが、入道遺跡において旧石器～縄文時代の遺物包含層を検出した。

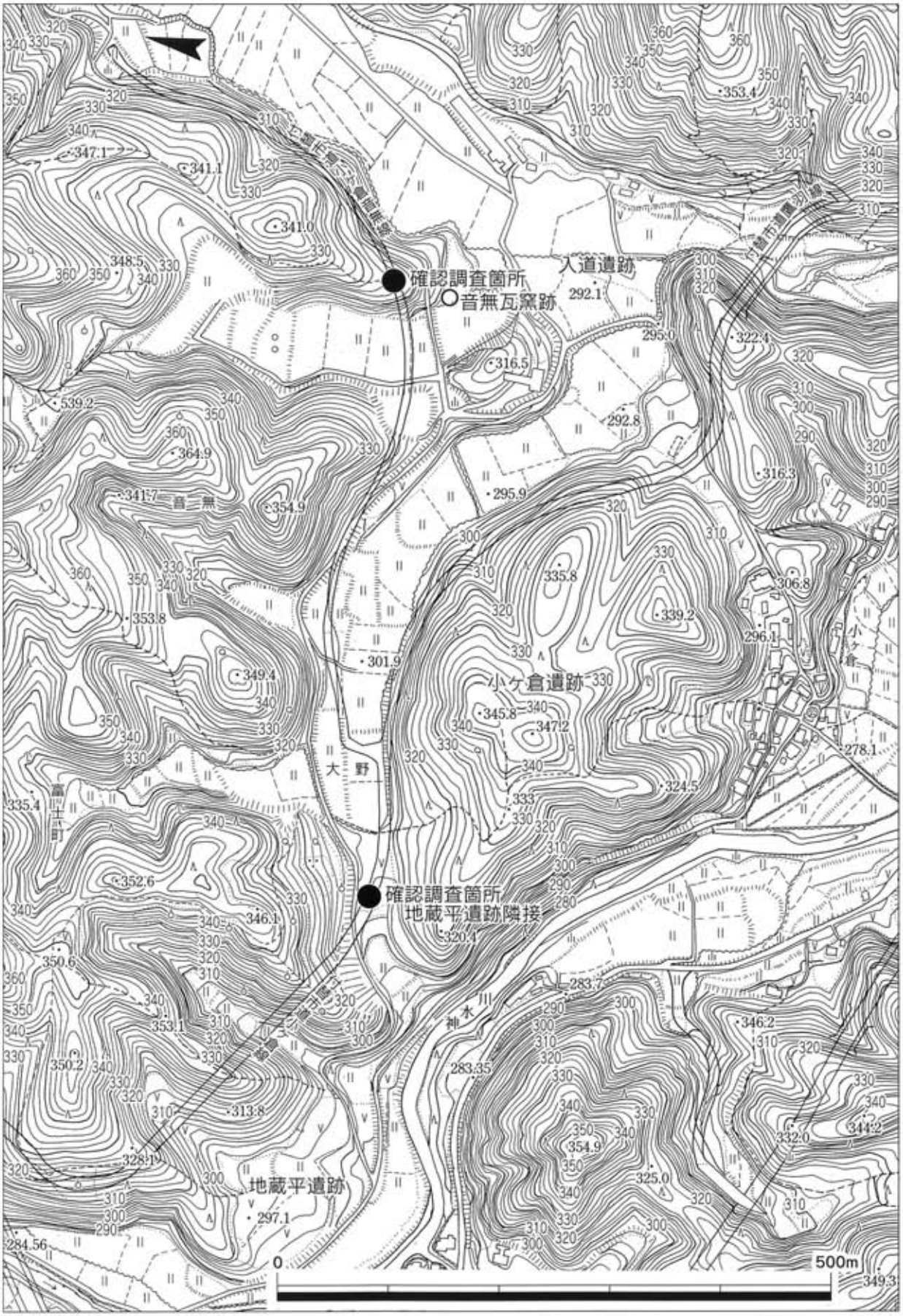
調査後の取扱い　入道遺跡は平成18年度に本調査を実施。地蔵平遺跡隣接地は工事実施予定。

図版11　嘉瀬川ダム建設事業　文化財調査対象地（入道遺跡遠景）

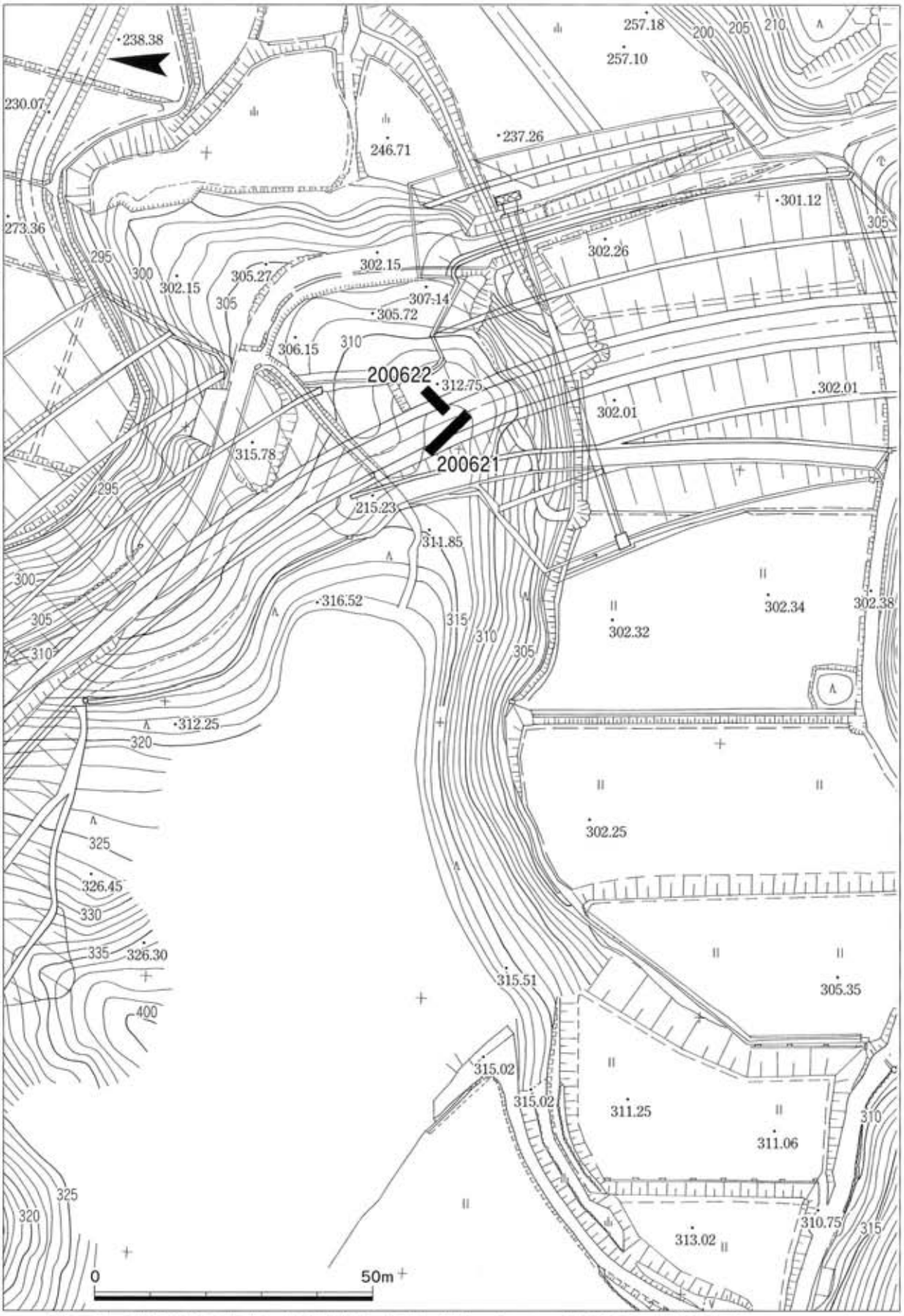


第17図　佐賀市富士町：嘉瀬川ダム事業地区内遺跡位置図（S=1：25,000）

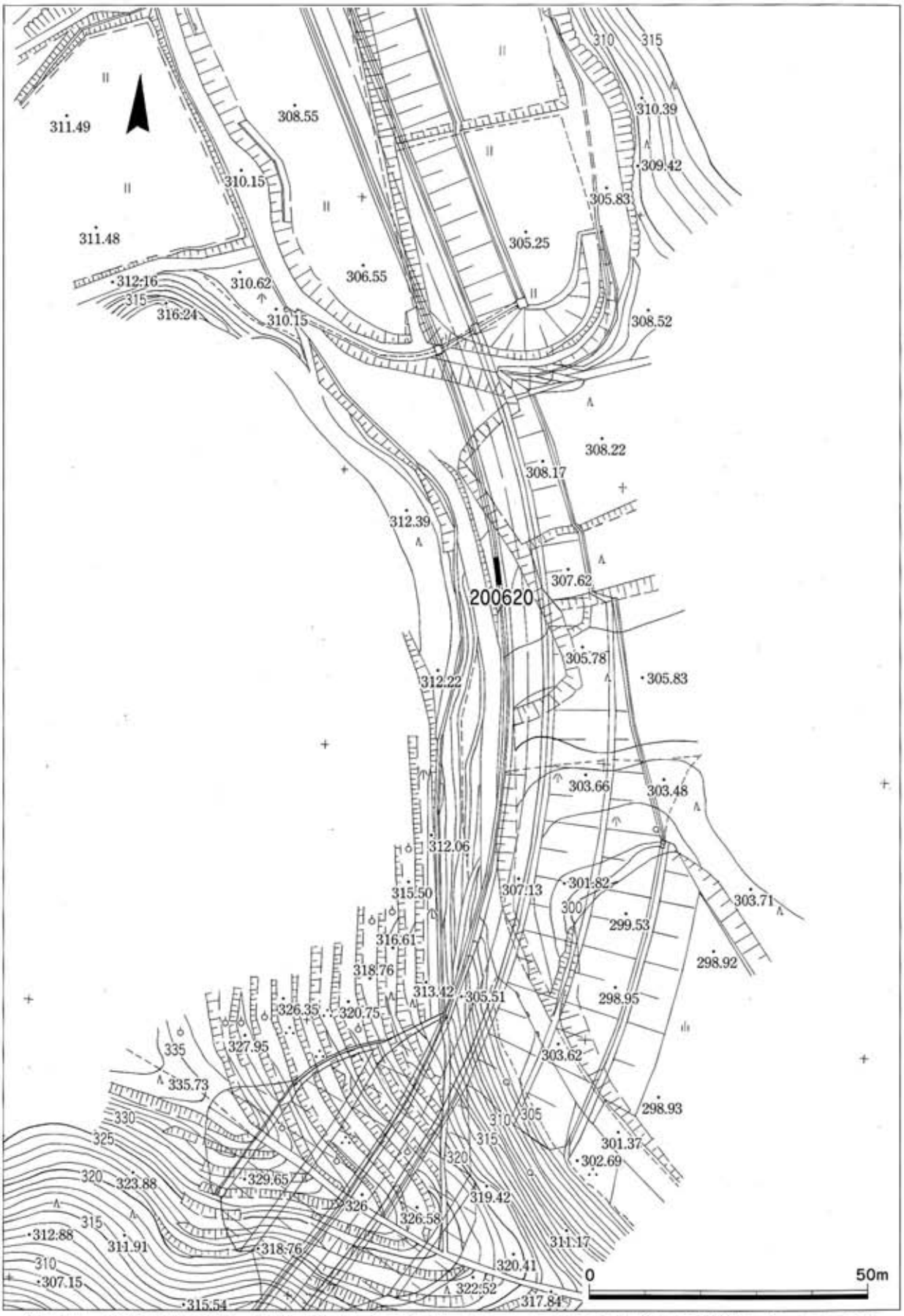
1　入道遺跡　　2　地蔵平遺跡隣接



第18図　嘉瀬川ダム事業　付替市道小ケ倉音無線　路線図（S=1：5,000）



第19図　嘉瀬川ダム事業　付替市道小ケ倉音無線　トレンチ配置図①入道遺跡（S=1：1,000）



第20図　嘉瀬川ダム事業　付替市道小ケ倉音無線　トレンチ配置図②地蔵平遺跡隣接（S=1：1,000）

1　調査地遠景（入道遺跡）

2　調査地遠景（入道遺跡）

図版12　嘉瀬川ダム事業　付替市道小ケ倉音無線１　入道遺跡

1　確認調査状況

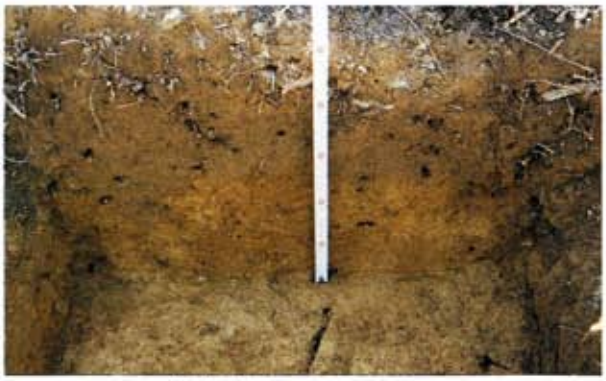
2　確認調査状況

3　確認調査状況

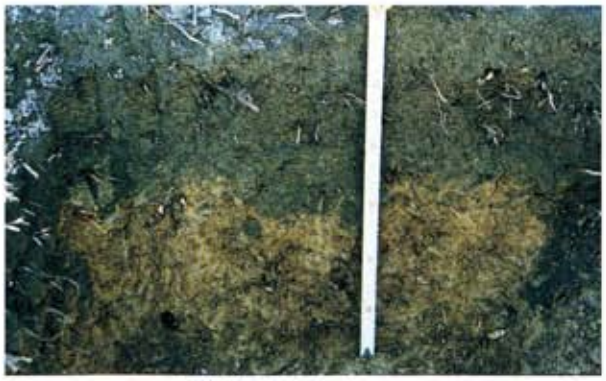
4　200620南東

5　200620南東

6　200621　西から



7　200621　北壁土層



8　200622　北壁土層

図版13　嘉瀬川ダム事業　付替市道小ケ倉音無線２　地蔵平遺跡隣接２トレンチ

3．佐賀城跡公園整備事業（歴史と文化のまちづくり事業）に係る調査

（1）佐賀市　（第21～26図、図版14～16）

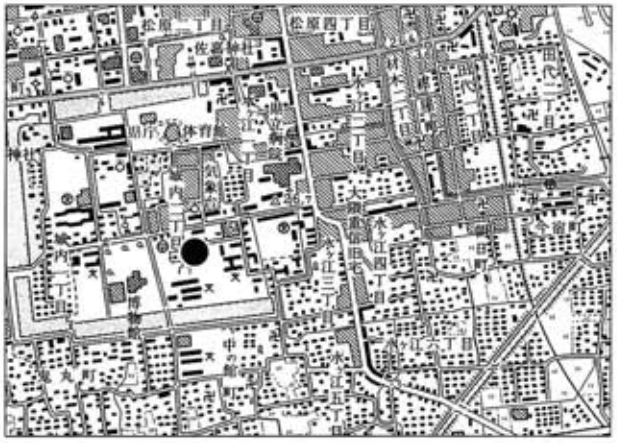
調査対象地区名　佐賀城跡鯱の門

調査対象地所在地　佐賀市城内

測量対象面積　0.1ｋｍ²

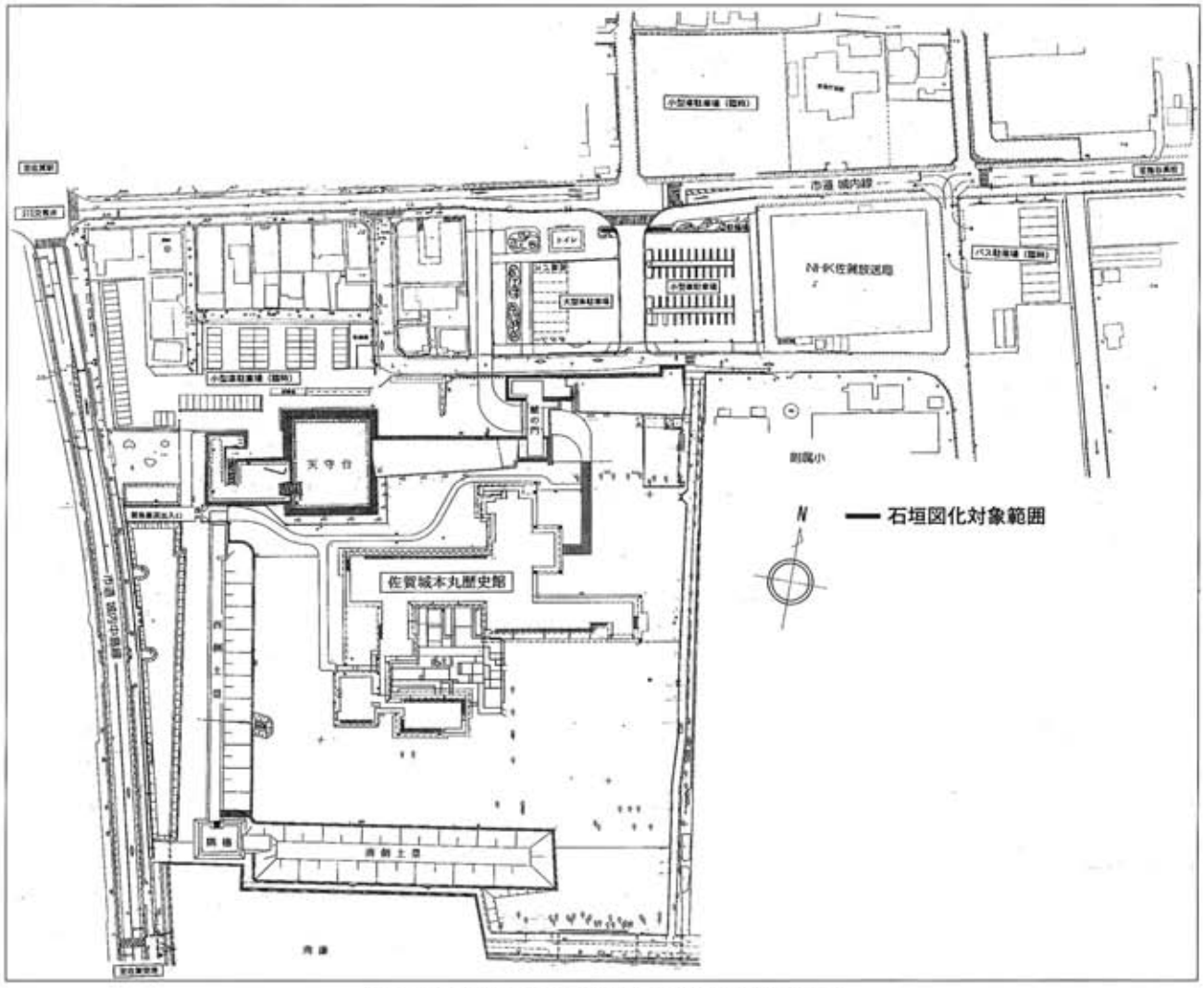
測量調査期間　平成19年1月15日～平成19年3月15日

調査対象地区の立地　佐賀城跡は、佐賀平野の低平地に築かれた近世期の城で、周囲を最も幅広のところで約40間の水堀に囲まれた典型的な平城である。

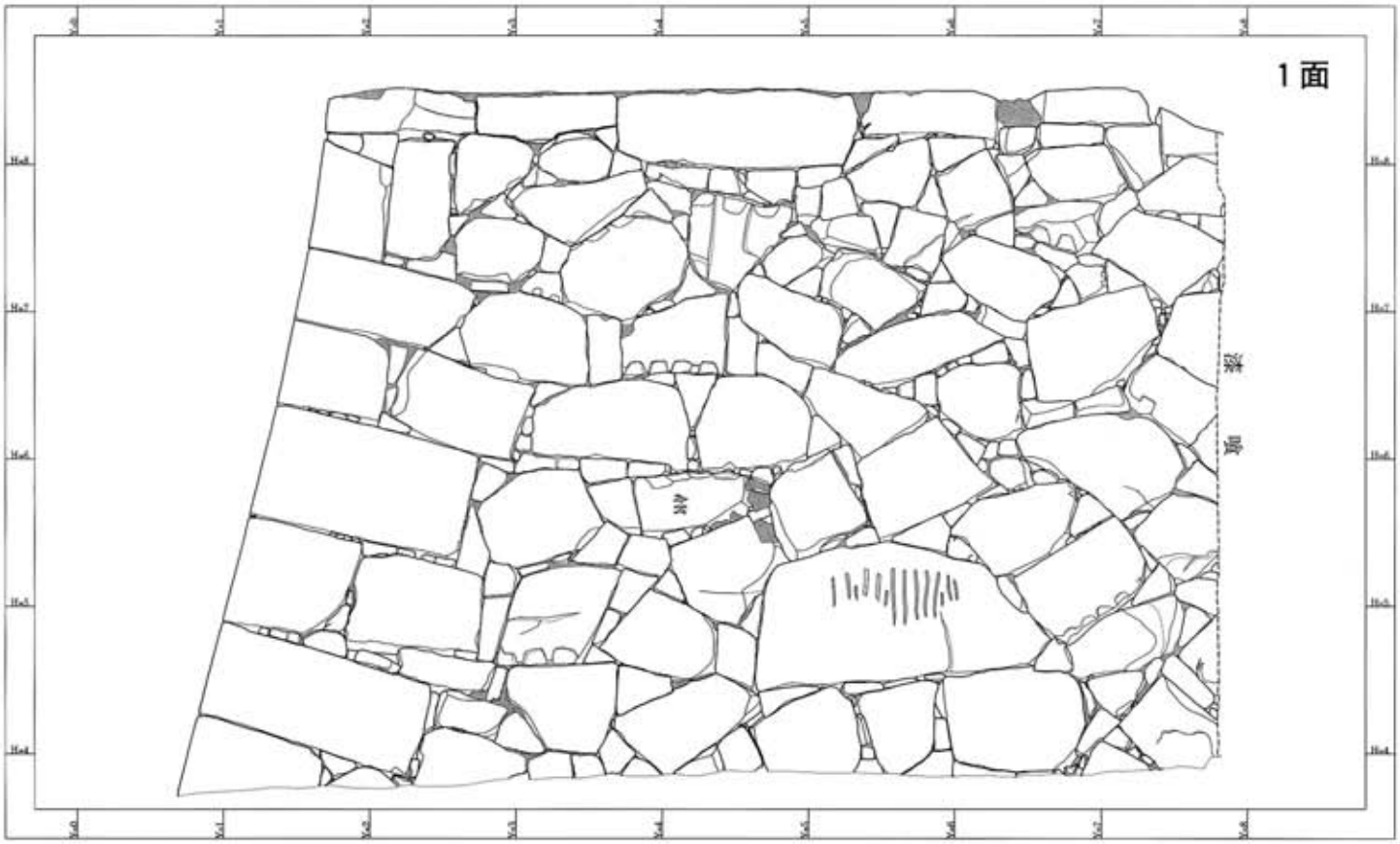


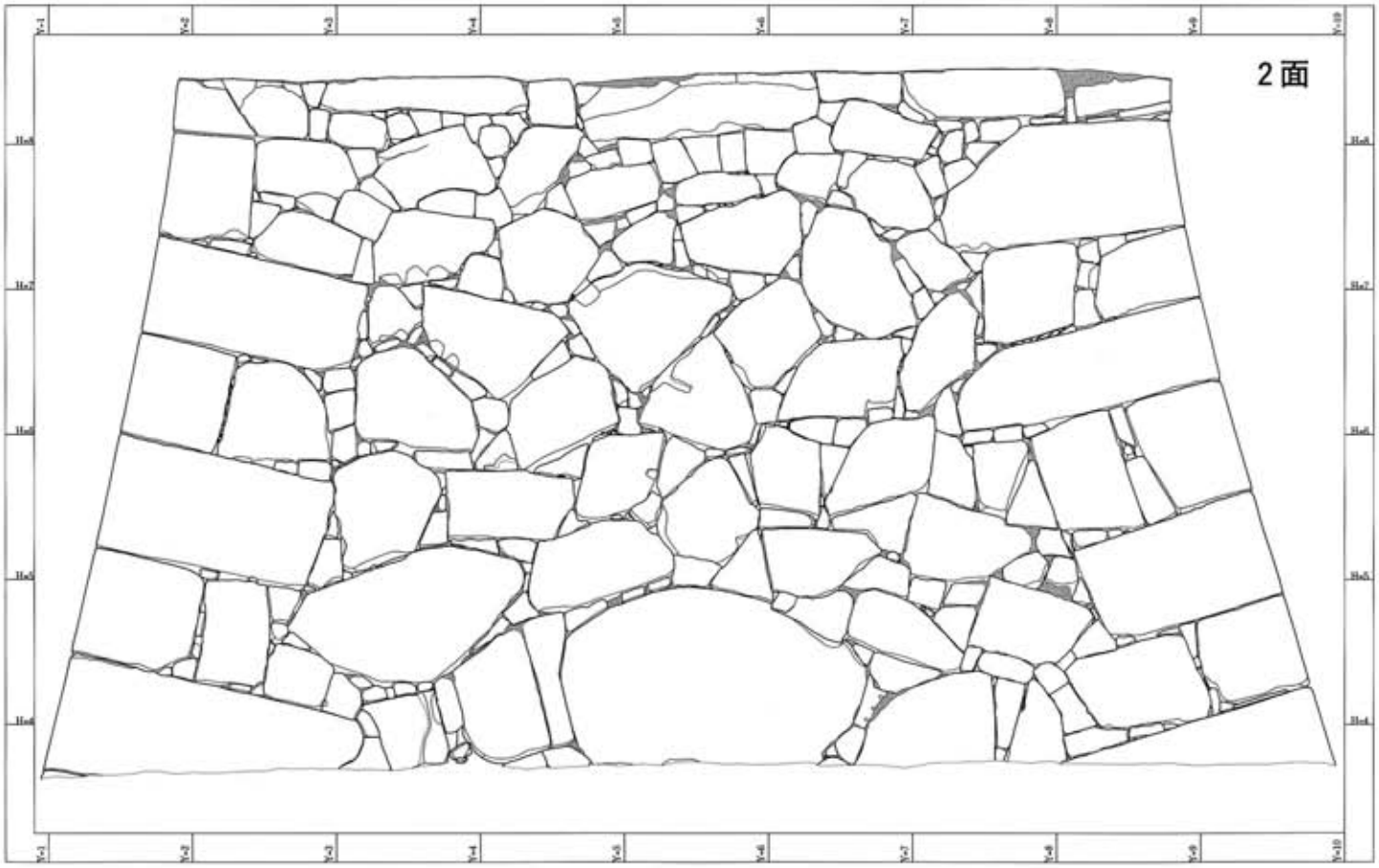
第21図　佐賀城跡位置図（S=1：50,000）

佐賀城本丸一帯は佐賀城公園歴史の森として整備事業が進められており、平成13～16年度には江戸時代に築かれた石垣の復元等を行なっている。またその範囲内には、天守台跡を始めとする多くの石垣が残存している。それらは、築造後数百年を経ているため、一部に毀損が見られ、将来的に解体修理が必要なものも含まれている。修理が必要となった場合、公園利用者の安全確保のために早急な対応が必要であり、かつ県史跡「佐賀城跡」としての文化財価値を維持することが必須条件であるため、事前に石垣の記録を作成しておく必要がある。

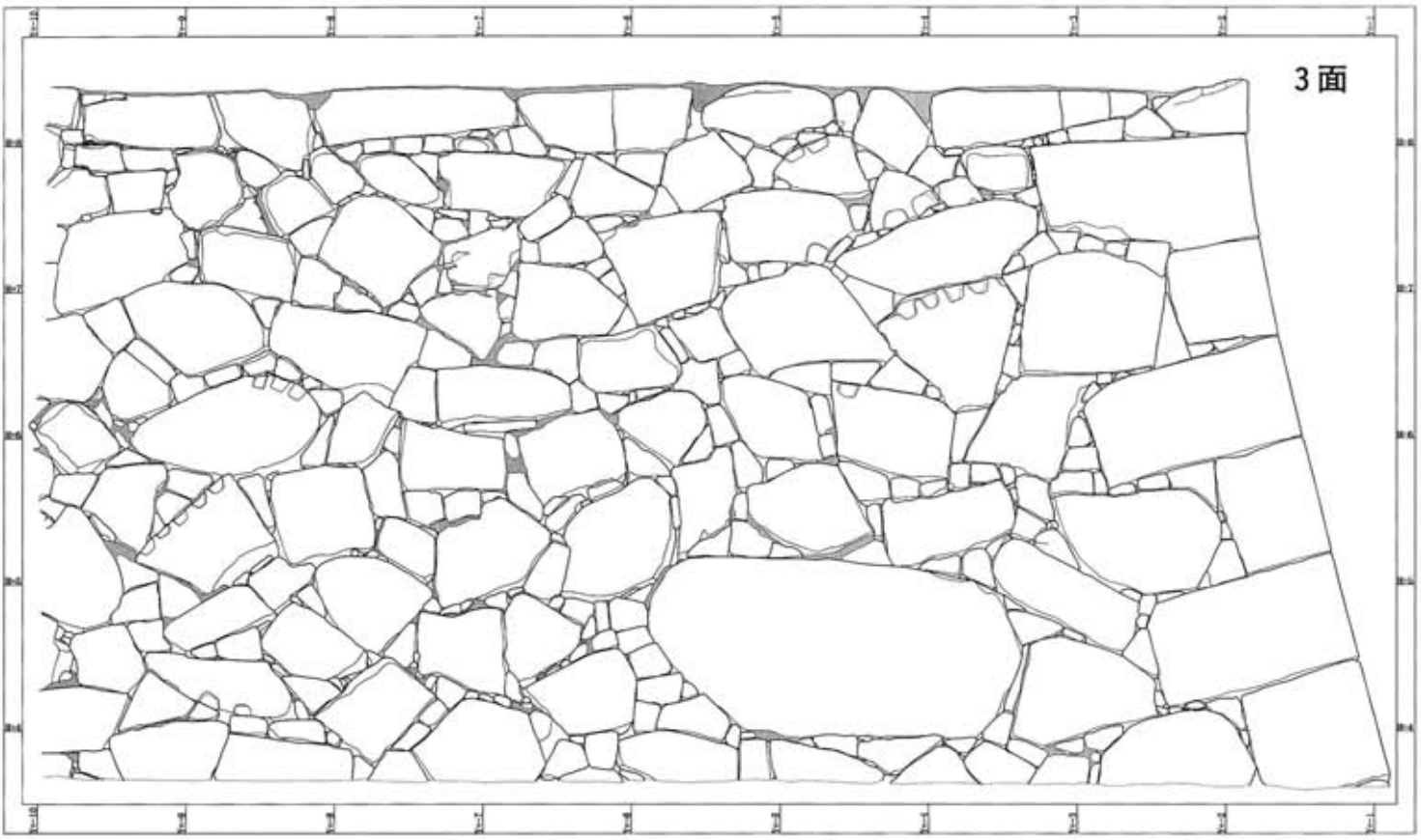


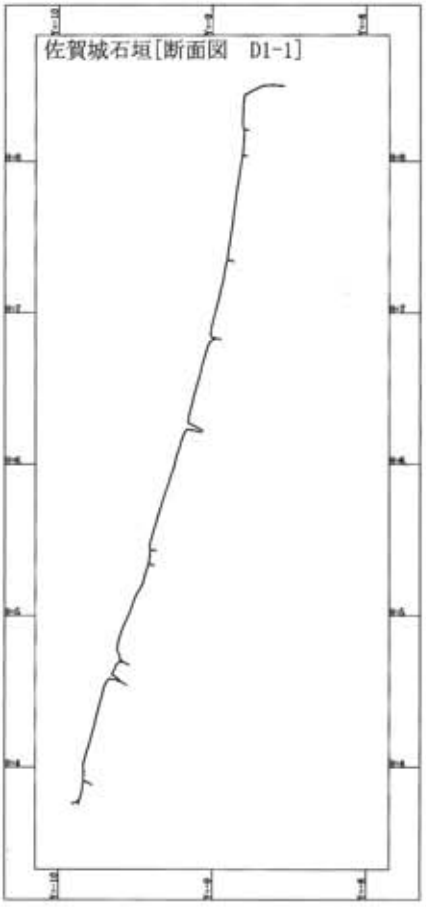
第22図　佐賀市：佐賀城跡調査対象地周辺図

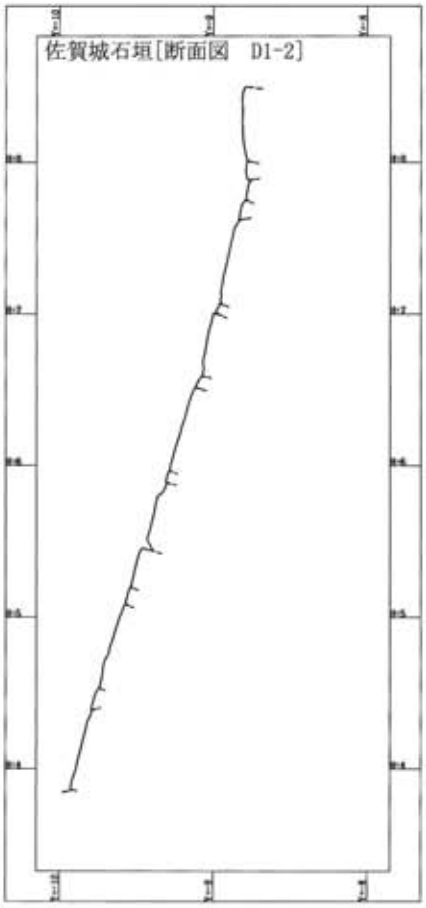


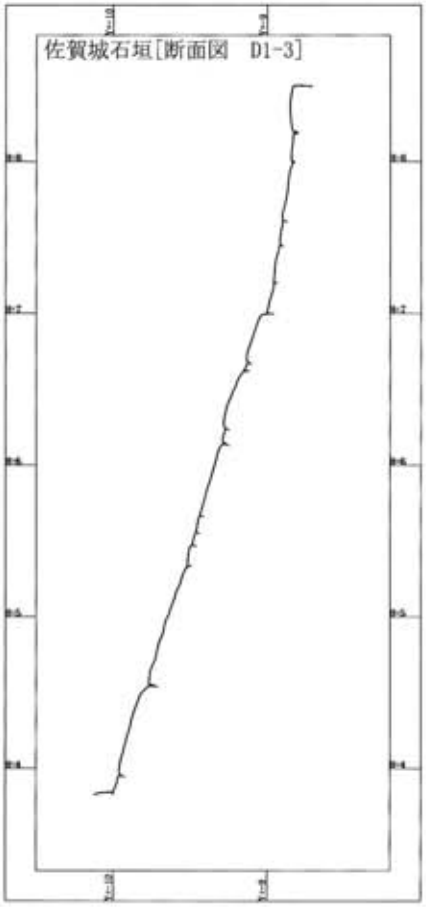


第23図　佐賀市：佐賀城跡石垣実測図　立面図（1面・2面）（S=1：50）

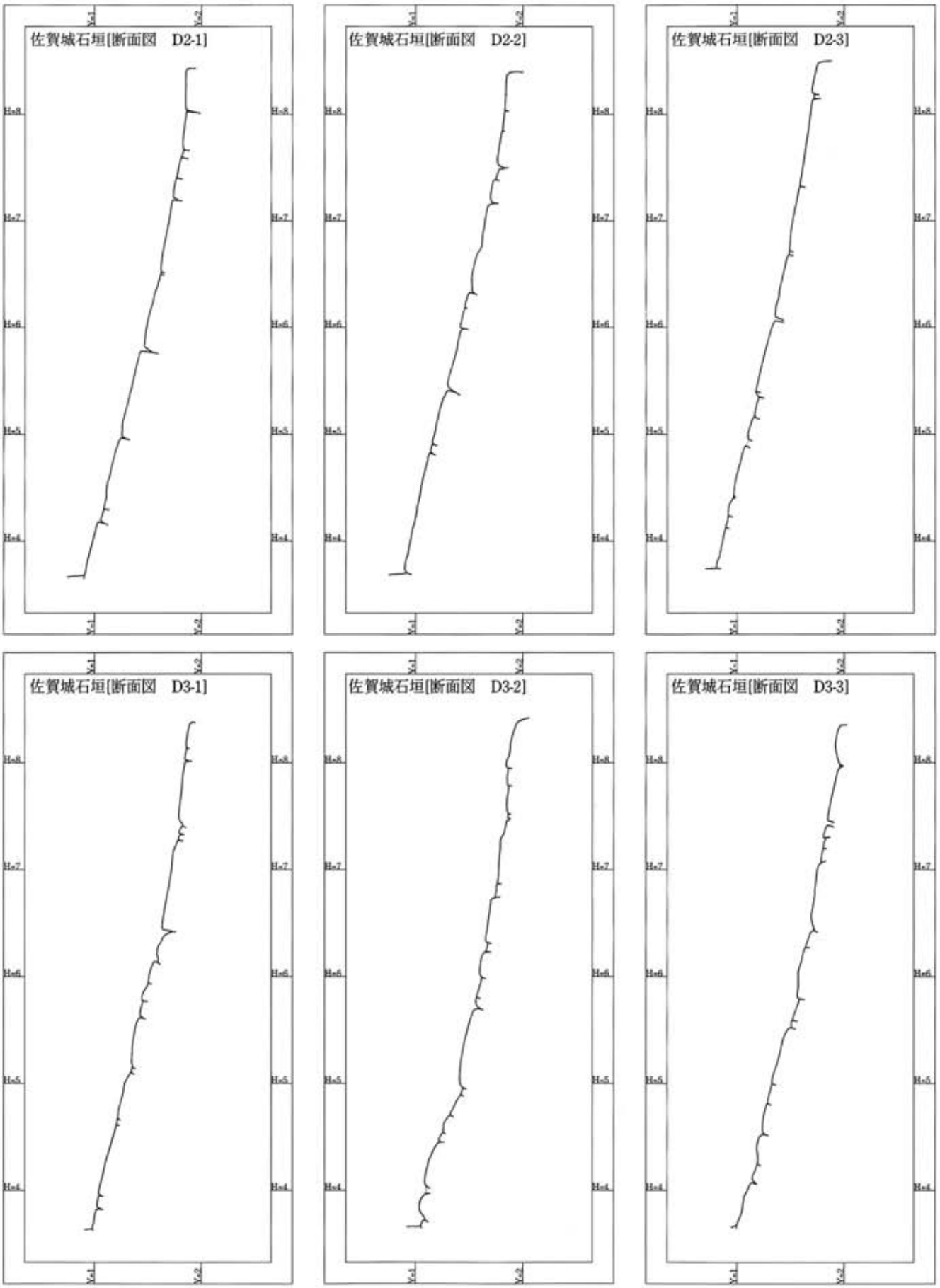




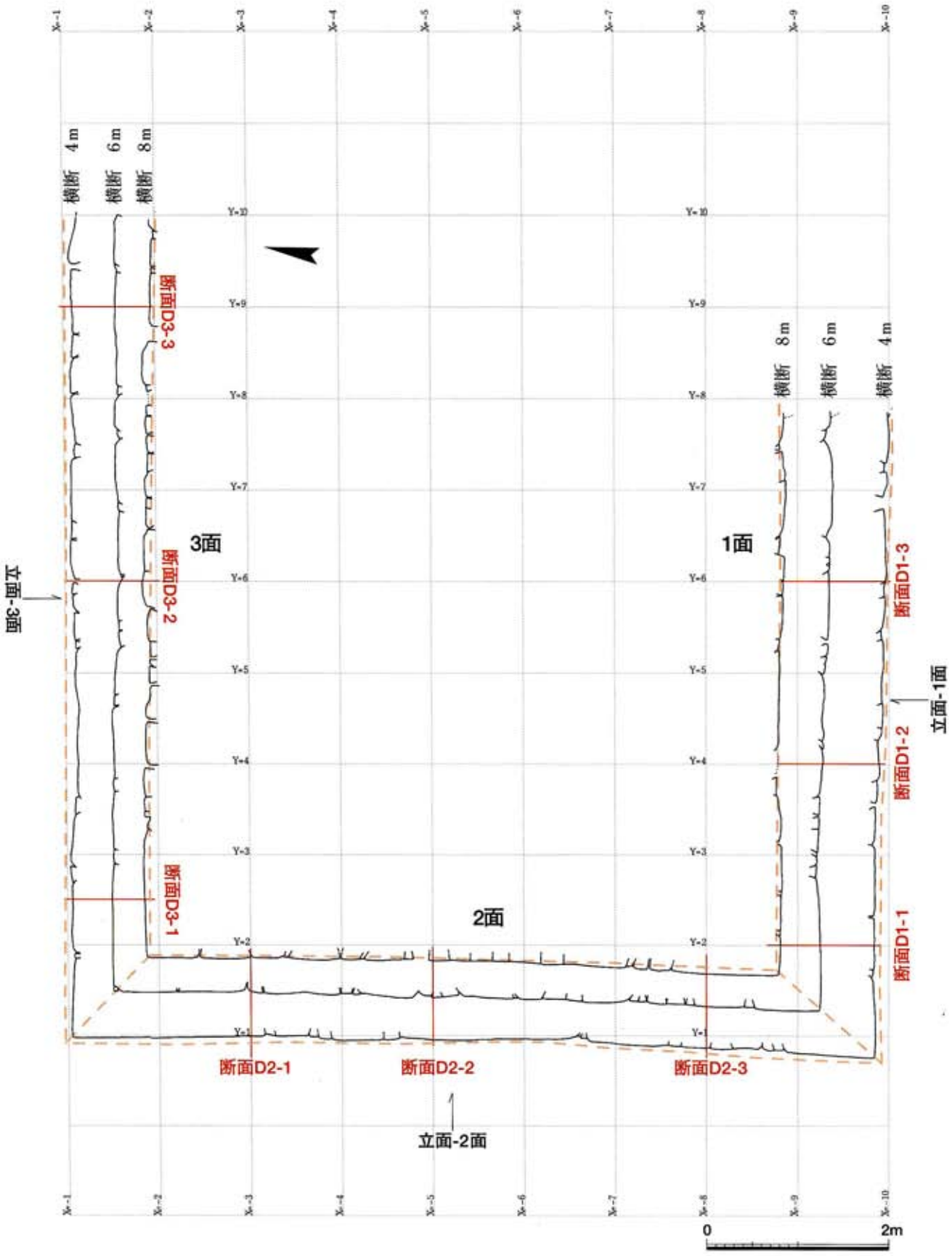




第24図　佐賀市：佐賀城跡石垣実測図　立面図（３面）、断面図①（１面）（S=1：50）

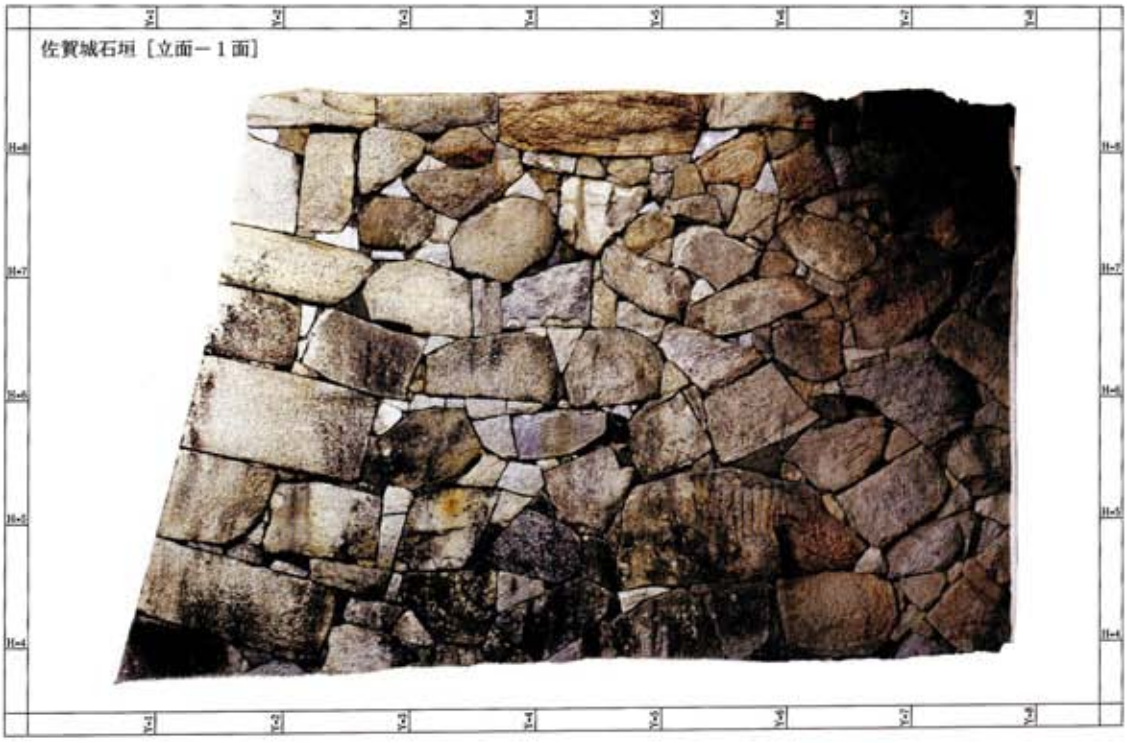


第25図　佐賀市：佐賀城跡石垣実測図　断面図②（２面・３面）（S=1：50）



第26図　佐賀市：佐賀城跡石垣実測図　断面位置図・横断図（S=1：60）

図版14　佐賀市：佐賀城公園整備事業１　上：調査対象地全景（西から）　下：石垣１・２面（南から）



図版15　佐賀市：佐賀城公園整備事業２　上：石垣２･３面（北西から）　下：石垣詳細１（石垣１面：南から）

図版16　佐賀市：佐賀城公園整備事業３　石垣詳細２　上：石垣２面（西から）　下：石垣３面（北から）

III. まとめ

平成18年度に実施した確認調査の結果等については表４にまとめた。ここでは確認された遺構等を中心に時代ごとに総括しておく。

縄文時代に属する時期のものとしては、佐賀市富士町大字大野の嘉瀬川ダム建設事業（付替市道小ケ倉音無線）に係る調査対象地の地蔵平遺跡隣接地では安山岩剥片1点が出土したにとどまったが、入道遺跡においては旧石器～縄文時代の遺物包含層を検出した。入道遺跡では旧石器、縄文時代の石鏃・削器・剥片と土器細片が出土し、細石刃石核を採集した。今回の確認調査では遺構は確認されなかった。近年、地蔵平遺跡では本調査が実施されており、旧石器時代～縄文時代の拠点的遺跡であることが改めて明らかになっている。遺跡内においても遺物分布や土層の堆積状況は一様ではないが、土層堆積の良好な箇所では４時期以上に及ぶ遺物群が遺存していることが判明した。特に旧石器時代の石器群を分離できる遺跡は、佐賀県内において極めて少なく、今後の調査を慎重に進めていく必要がある。

弥生時代の遺跡としては、佐賀市大和町大字川上の筑後川下流農業水利事業（右岸幹線水路）予定地の小隈五本松遺跡では甕棺墓を確認し、弥生時代の墓地の一部と考えられた。

近世の遺跡としては、神埼郡吉野ヶ里町小川内の那珂川総合開発事業（五ケ山ダム建設事業）に伴い、ダム水没予定地の確認調査を行った。調査の結果、第７地点では、室町時代の石列跡（崩壊した石垣跡か）が確認された。同時期の遺物包含層の広がりから、他にも遺構が残存することが予想される。現時点では、11,500m²について遺跡の広がりが確認されているが、調査区周辺の山塊裾部および田畑については、遺構の存在が予想されることから、今後、さらに確認調査を進める必要がある。

また、佐賀城公園整備事業（佐賀城公園歴史の森事業）では、これまで平成13～16年度に江戸時代に築かれた石垣の復元等を行なっている。佐賀城跡には天守台を始め多くの石垣が残存しているが、築造後四百年を経て、一部に毀損が見られ、将来的に解体修理が必要なものもある。佐賀城公園を利用する来訪者の安全確保のために緊急的な補修などの対応が必要であり、かつ県指定史跡である「佐賀城跡」としての本質的な価値を保存することが必要となるため、これらの文化財的な価値がある石垣については、補修の前に詳細な記録を作成しておく必要がある。今回は、天守台の東側に位置する「鯱の門」の北側石垣の図化を実施し、石垣の現状立面図や断面図を作成し、公園事業に備えた。鯱の門は江戸時代末期（天保期）に再建され、昭和36～38年度には解体修理が行われており、この際に土台の石垣についても天端付近を中心に若干の積み替えが行われているようである。

以上の農林業基盤整備事業、那珂川総合開発事業に伴う五ケ山ダム建設事業、その他国・県主体の公共事業（嘉瀬川ダム建設事業など）については、市町教育委員会の協力を得て、佐賀県教育委員会が事業主体となって確認調査等を実施した。

なお、国土交通省佐賀国道事務所所管の事業や佐賀県県土づくり本部の県道整備事業等については適宜、佐賀県教育委員会が事業計画と文化財保護との調整会議を主導し、その調整を図った。特に佐賀県県土づくり本部の土木所管の事業については、平成18年11月上旬に県内の各土木事務所単位で協議を行い、事業計画と文化財の保護との調整を図った。その後、当該市町教育委員会が調査主体となって確認調査を行なうなど埋蔵文化財の保護を行なった。

最後に、これら佐賀県内の埋蔵文化財保護行政に際して、ご協力をいただいた市町教育委員会や関係各位に厚く御礼を申し上げます。

表４　佐賀県内遺跡確認調査地区一覧表（平成18年度実施）

【農林基盤整備事業に伴う文化財確認調査】

地　区	市町名	工事地区名	所　在　地	確認調査対象(m²)	調　査　結　果	担当者	備　考
佐賀東部	神埼市	ふるさと農道緊急整備（岩田集落内）	神埼市神埼町尾崎	621	遺構・遺物は確認されなかった。	八尋　実	
佐賀西部	佐賀市	右岸幹線水路（立石地区）	佐賀市大和町大字川上	9,084	弥生時代墓地（甕棺墓）、甕棺 瓦器碗片	山口　亨	未周知 (小隈五本松遺跡で新規登録)
		県営中山間地域総合整備事業（富士南部地区）	佐賀市富士町大字市川	300	遺構・遺物は確認されなかった。	山口　一郎	市川遺跡

【その他公共事業に伴う文化財確認調査地区】

地　区	市町名	工事地区名	所　在　地	確認調査対象(m²)	調　査　結　果	担当者	備　考
五ケ山ダム	吉野ヶ里町	五ケ山ダム建設事業	神埼郡吉野ヶ里町小川内	535,000	江戸期の石垣 土師器片・黒曜石片	白木原　宜 樋口　秀信	未周知
嘉瀬川ダム	佐賀市	嘉瀬川ダム建設事業（付替市道小ケ倉音無線）	佐賀市富士町大字大野字入道	47,000	遺構なし 旧石器、縄文時代土器、石器（石鏃・削器・剥片）など	徳永　貞紹 加藤　吾郎 佐々木忠俊	入道遺跡 地蔵平遺跡 小ケ倉遺跡近接 音無瓦窯跡近接
佐賀城公園	佐賀市	佐賀城公園整備事業	佐賀市城内	測量面積 100	近世城郭石垣	五島　昌也	佐賀城跡 測量調査のみ

Ⅳ. 資料

資料１

農林業基盤整備事業等に係る文化財調査の進め方

①９月上旬

翌（々）年度事業計画書の提出

農林担当部局から県文化課へ翌(々)年度
工事施工計画図等の提出(協議)

②９月中旬～10月中旬

市町村教委と事前打ち合わせ及び現地踏査等

市町教委と図面をもとに確認調査箇所に
ついて打ち合わせ

③10月中旬

第１回協議

九州農政局筑後川下流農業水利事務所
筑後川下流白石平野農業水利事業所
佐賀中部農地防災事業所
県農林担当課・県農林事務所
市町農林担当課・市町教育委員会
文化課と確認調査についての打ち合わせ

④10月中旬～12月上旬

文化財確認調査実施

※協議の結果、確認調査が必要と判断
された場合のみ

⑤11月下旬～12月上旬

個別協議

文化財所在地区の農林業基盤整備
事業等について協議（数回）

⑥12月中旬

第２回協議

翌年度発掘調査箇所(面積)の
決定、発掘調査の時期調整

⑦新年度

発掘調査

資料2

○農業基盤整備事業に係る埋蔵文化財の保護に関する確認事項

昭和53年4月1日　佐賀県教育委員会教育長
佐賀県農林部長
昭和59年4月1日　改正

農業基盤整備事業等（以下「事業」という）埋蔵文化財保護の調査（以下「調査」という）との関係の調整については文化財保護法第57条並びに文化財保護法の一部改正に関する覚書（昭和50年5月23日文化庁長官農林省構造改善局長）の趣旨に基づき、佐賀県農林部と佐賀県教育委員会は次の事項について確認する。

1　文化財保護担当部局は事業の実施予定地区に係る文化財の調査に当っては当該事業の計画的かつ円滑な実施に支障が生じないよう措置するものとする。

2　農業担当部局は周知の埋蔵文化財包蔵地等における事業の策定に先立ち、事業と文化財保護との連絡調整をはかるため、あらかじめ文化財保護担当部局と協議するものとする。

3　当該事業の施行にあたっては前々年度の9月上旬までに計画図等を添えて佐賀県教育委員会へ連絡し調整をはかるものとする。

4　文化財保護担当部局は当該地区の文化財確認調査を原則として事業施行前々年度に終了するものとする。また事業地区の変更等が生じた場合は、ただちに農業担当部局は文化財保護担当部局に協議する。

5　確認調査の結果埋蔵文化財が発見された場合、文化財保護担当部局は当該地区の文化財の保護に関し農業担当部局と協議し事業計画上やむを得ず破壊される遺跡等について行う発掘調査については原則として事業施行前年度に終了するよう努めるものとする。

ただし確認調査の有無にかかわらず工事中に埋蔵文化財が発見された場合農業担当部局は工事を一時中止して、文化財担当部局へその旨連絡し協議するものとする。

6　発掘調査の促進にあたっては農業担当部局はこれに協力するものとする。

7　事業の実施予定地区に係る埋蔵文化財の調査に要する経費は原則として文化財保護担当部局において負担するものとする。

ただし、やむを得ず当該調査に要する経費を事業費のなかで負担せざるを得ない場合においても当該経費のうち農家負担分については文化財保護担当部局において負担するものとする。

8　その他事業計画遂行にあたり、文化財保護について問題が生じた場合はその都度協議するものとする。

報 告 書 抄 録

ふりがな	さがけんないいせきかくにんちょうさほうこくしょ26
書名	佐賀県内遺跡確認調査報告書26
シリーズ名	佐賀県文化財調査報告書
シリーズ番号	第174集
編集者名	松尾 法博
編集機関	佐賀県教育庁文化課
所在地	〒840－8570　佐賀県佐賀市城内一丁目1－59　Tel.0952(24)2111
発行年月日	2008年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査対象面積 (確認調査)	調査原因
さがけん 佐賀県 のうりんぎょうきばんせいび 農林業基盤整備 じぎょうちくないいせき 事業地区内遺跡 ごかやまけんせつ 五ケ山ダム建設 よていちないいせき 予定地内遺跡 たこうきょうじぎょう その他公共事業 よていちないいせき 予定地内遺跡	さがけんない 佐賀県内					20060401 ～ 20070331	約128.80ha	佐賀県農林業基盤整備事業等 五ケ山ダム建設事業 その他公共事業

所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
佐賀県農林業基盤整備事業地区内遺跡 五ケ山ダム建設予定地内遺跡 その他公共事業予定地内遺跡	散布地 遺物包含層 集落跡 墓地跡 城館跡	旧石器時代 縄文時代 弥生時代 古墳時代 中世 近世	甕棺墓 石垣など	旧石器 縄文土器 縄文時代石器(石鏃・削器・剥片) 土師器片 陶器 磁器など	

佐賀県文化財調査報告書第174集

佐賀県内遺跡確認調査報告書 26

発　行　日　平成20年3月

編集・発行　佐賀県教育委員会

佐賀市城内一丁目1-59

印　　刷　佐賀印刷社

佐賀市高木瀬西六丁目11-7